

---

# 逃走中・あつまれ！少女漫画キャラクター ～天使の世界への刺客～

風見ぽぽ介

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

逃走中・あつまれ！少女漫画キャラクター ～天使の世界への刺客～

### 【Nコード】

N4583X

### 【作者名】

風見ぼぼ介

### 【あらすじ】

みなさんご存知の賞金獲得ゲーム・逃走中。ここでは何と前代未聞の少女漫画キャラクターというジャンルで逃走中が行われる！どこか天空の彼方にあるといわれる天使の住む国・「エンジェルシティ」。20名の逃走者たちが90分間の逃走劇を織りなす中、エンジェルシティで巻き起こる事件に翻弄される！！逃げ切る者は、現れるのか……！？

注）ジャンルが少女漫画ということもあり、おそらく皆さんが初

めてお目にかかるキャラクターばかりかと思えます。「こんなキャラクターがいるんだ」と思って頂ければ幸いです。もし納得できなければ恐れ入りますが引き返します。

## 大まかな注意点

初めまして。小説家になろう新入りの風見ぼぼ介と申します。

僕はにじファンの皆さんの逃走中小説を読みまして、当初はただ読んでいただけでしたが、読んでいるうちに自分でも執筆したくなったのでこんな逃走中を執筆することにしました。

ここで、本編・キャラ紹介に入る前に注意事項がございます（くどいけど…）。

1・今回の逃走中メンバーは、1985年～2009年に初見となった少女漫画作品から幅広く20名を選出しました。それ故に初見のキャラクターもいるかと思えます。

2・また、逃走者のうち1人が増刊（読み切り）からの登場でもあります（「おとぎアドベンチャー」の月見がそれに該当）。

3・作者の意向により、有名無名に関わらず20名が選ばれました。

この3つに納得がいかない方はお手数ですが引き返します（苦情も遠慮願います）。

以上3つに納得される方は、是非ぼぼ介印の逃走中をお楽しみください！

次回はキャラクター紹介です。

## 大まかな注意点（後書き）

本当に原作が多すぎたり、ほとんどの方が知らなかったりしそうな作品だったり、文章構成が下手だったりしますが、どうぞ広い心で読んでやってくださいませ。

## キャラクター紹介（前書き）

原作が多すぎて、「おとぎアドベンチャー」「なぞなぞキューちゃん」「チム・チム・チェリー!」「くまっプリ」「チヨコミミ」「トウインクルきやつと」「すくらんぶる・b!」  
以上7作が原作名から欠落しています（笑）。

さらにドラマパートではそれ以外の作品からも引っ張ってきています。

あなたは16作品の中でいくつご存知なのでしょう…。

本来にある意味で凄まじい逃走中ですが、お付き合いよろしくです！

## キャラクター紹介

皆さんご存知ないと思いますので、作品紹介しながら逃走者20名を紹介したいと思います。

くちやお梓（7名）

南楓（ ）（みなみかえで）（篠塚ひろむ作・「ミルモでポン！」）

同漫画の人間側の主人公。結木撰のことが大好きな彼女は、ある日母親の旅行土産として貰った（原作。アニメでは楓がミモモシヨップで購入）恋のおまじないが出来るマグカップを試しに使ってみたところ、なんと恋の妖精ミルモが現れた！楓の恋はどうなるのか？と言った物語。

同漫画は2002年に「わがまま フェアリー ミルモでポン！」と言うタイトルでアニメ化され、少女漫画としては3年半という比較的長い期間でアニメ放送された。

山田みい子（ ）（やまだみいこ）（おのえりこ作・「こっちむいて！みい子」）

同漫画の主人公。ちやおはラブコメ作品が大半を占めるが、これは主人公みい子のまわりの日常をテーマにしたコメディ作品。元気はあるものの頼りないところがある。小学5年生であるのに身長は122センチである為に幼稚園児や小学1年生とよく間違えられる。後述の「チヨコミミ」を除けば今回16ある原作（逃走者のみ）の中で現在（2011年10月現在）でも連載を持っている作品は「みい子」のみ。既に15年以上連載されている（元ネタ「みい子でっす！」を合算すると20年以上になる）。



志村まり（ ）（しむらまり）（おのえりこ作・「こつちむいて  
！みい子」）

みい子のクラスメイトであり、親友でもある。将来は漫画家になることを目指しており、少女漫画雑誌「おちゃ」にたびたび投稿する。身長はみい子より少し高く、みい子よりまともである。

なお、「みい子」は1998年にアニメ化されており、1年間放送された。

ちま（ ）（竜山さゆり作・「はぴはぴクローバー」）

三日月森在住のうさぎで、同漫画の主人公。元気いっぱい運動神経抜群。四つ葉のクローバーを左耳の根元に付けていて、ハートの形を成したピンクの毛が特徴。彼女の後ろ足から繰り出される「ちまキック」はとても威力が強く、キックした者を遥かなたまで吹っ飛ばしてしまう。

メル（ ）（竜山さゆり作・「はぴはぴクローバー」）

垂れ耳うさぎの女の子。同漫画の序盤で三日月森に引っ越してきて、ちまの通う学校に転校した初日にちまとすぐに友達になった。素直で優しいピュアな心をもつことで評判が高い。学校での成績は優秀な方だが、運動は苦手な方である。

なお、同漫画は2007年にアニメ化され、1クールの間放送された。

オージ（ ）（竜山さゆり作・「くまップリ」）

見た目は水色のクマのぬいぐるみだが、宇宙人。同漫画の主人公。地球にあるという、何でも願いを叶えてくれる「はじまりの石」を探してはるばるメルチー星からやって来た。あるトラブルが起きてからは人間側の主人公・十時るるか（ときるか）の家に居候中。「オージ」である為か、超自分勝手。彼によると、地球は辺境の惑星らしい。

二ノ宮空（ ）（にのみやそら）（にしむらともこ作・「すくらんぶる - b!」）

同漫画の主人公で、運動神経抜群のパワフルな女子。感情の赴くままに行動する癖があつてそれが原因でたまにトラブルも起こすが、正義感はかなり強いのだ。青琳（せいりん）学園に転入するが、同学園では寄付金が多い生徒ばかりがAクラスにいて、それ以外の（言わば平民）生徒はBクラスにしていることを知った空は憤りを感じる。そんな空はBクラスの生徒をいじめるAクラスの生徒を成敗する「b - 倶楽部」に誘われて…

運動神経の良さは折り紙つき！期待株の一人だ。

くなかよし枠（6名）

わぴこ（ ）（猫部ねこ作・「きんぎよ注意報！」）

同漫画の主人公（序盤は後述の千歳だった）。彼女はとても元気よく、かけっこが大得意なパワフルな女の子。しかも車にも負けなほども。が、超ノーテンキで考えている事が全く分からない、謎多きわんぱく娘。逃走中の期待株の1人・わぴこはどんな逃走劇を魅せるのか？

なかよしにしては珍しく、ギャグを主体にした漫画である。

藤ノ宮千歳（ ）（ふじのみやちとせ）（猫部ねこ作・「きんぎよ注意報！」）

お譲さまであり、準主人公（本来は主人公だったが、いつのまにかわぴこにその座を譲ることになった）である。廃校の危機に直面した田舎ノ中学を建て直した救世主で現在は生徒会長兼理事長。生徒会費で生徒会室内の装飾品に無駄に金をかけるなど自分勝手な面も見られるが、根本的に間違ったことにはツツコミを入れる、ポジ

ションとしてはボケとツツコミの中間地点にいたいと思われる。

なお、同漫画は1991年にアニメ化され、約1年間放送された。

山田二菜（ ）（やまだにな。通称ニナ）（菊田みちよ作・「まもって！ロリポップ」）

同漫画のヒロインで、中学生女子。魔法使いの試験に使われている、飴玉に良く似た「硝子真珠」（クリスタルパール）をうっかり飲み込んでしまい、そのため受験者のゼロとイチイ、この2人の魔法使いに守られることに！？

今回のゲームにはゼロもイチイもないため、自分の身は自分で守らなければならない。

同漫画は2006年にアニメ化され、1クールの間放送された。

竜堂ルナ（ ）（りんどうるな）（池田美代子作・「妖界ナビ・ルナ」）

同作品は、岩崎書店より発売された文学単行本。この作品はなかよし作家の菊田みちよによって作画もされたので、ルナはなかよし枠からの参加となる。ルナは、人間で陰陽師である父親と妖怪で沢白国の姫である母親から生まれた半人半妖の女の子。ゆえに、九字や呪符といった陰陽道の術が使えるのだ。しかし、逃走中では使用を禁止されている。

樹藤ゆみ（ ）（きとうゆみ）（片岡みちる作・「トウインクルきやつと」）

人間の女の子で、同漫画の主人公。ゆみは実は、突然目の前に現れた魔法猫のポムが間違えて「猫になる魔法」をかけてしまい、本人の意思にかかわらず猫の耳やしっぽが突然生えたり、暗所でもよく見えたりしてしまう（この能力を「ねこ化」と呼ぶ。ねこ化はルール違反ではないが、30秒以上ねこ化を続けると反則とする）。なお、たい焼きを食べることで一時的に魔法の効力を抑えられる。

チェリー（）（あゆみゆい作・「チム・チム・チェリー！」）  
厳密に言っと、同漫画はなかよしの姉雑誌にあたる「るるん」  
で掲載されていた。同漫画の主人公。若手の乳母（ナニー）である。  
実は魔法が使えて、そんなとっておきの魔法でマクレガー家の子供  
たちに夢を見せているのだとか。

りぼん粹（7名）

チャチャ（）（彩花みん作・「赤ずきんチャチャ」）

同漫画の主人公で、赤ずきんを被った見習い魔女。召喚魔法を得  
意とするものの、雲の代わりに蜘蛛を召喚してしまうなどといった  
失敗が目立つ。幕で空を飛ぶこともできるが、2人乗りが苦手。

同漫画は1994年にアニメ化され、1年半の間放送された。

また、2011年5月号のCookieにて「赤ずきんチャチャ  
N」が読みきりで発表され、りぼん2000年8月号以来・約10  
年ぶりの再登場となった。

お鈴（）（おりん）（彩花みん作・「赤ずきんチャチャ」）

通称お鈴ちゃん。桃ん賀流忍者であり、「赤ずきんチャチャ」の  
登場キャラと比較してかなり背が低い。が、メンバーの中では珍し  
いまでもキャラである。わびこ、空ちゃんと同様、このゲームへの  
期待度は高い（自力で逃げるのはもちろんOKだが、忍術で隠れた  
り、建物の上に登るのはルール違反）。

ミモリ（）（藤田まぐろ作・「ケロケロちやいむ」）

同漫画の主人公であり、かえる族のお姫様。かえる族と言っても  
カエルが変身した姿というわけではなく、人間よりはるかに凄い脚  
力があつたり、身軽であつたりする（「ぴよんぴよん飛び跳ねる」。

そのためかえる族と呼ばれる）、みてくれは人間と同じ種族。ミモリの兄・マカエルが人間の男の子・アオイにかけた魔法「かえる化の術」により、アオイは水にぬれるとカエルになってしまう。その魔法を解くために、アオイと一緒に旅をして方法を見つけるという物語である。

同漫画は1997年にアニメ化され、7か月間放送された。

桜井ちよこ（）（さくらいちよこ）（園田小波作・「チョコミミ」）

通称チョコ。主人公のうちの一人で、中学生。しっかり者であり、大ボケをかます猫田ミミ（通称ミミ）とは親友であり、ミミのお世話役でもある。ちなみにチョコミミは4コマ漫画でもあり、ファッション漫画でもあるのだ。

同漫画は2007年にドラマ化され、半年の間放送された。

また、りぼんでの連載は今年（2011年）3月頃からストップし、現在2011年10月時点で休載中とのこと。

シロ（）（高田エミ作・「ねこ・ねこ・幻想曲」）（読みは「ねこねこファンタジア」）

同漫画の主人公であり、実はメスの黒猫。お月様の力で人間の女の子に変身している状態である。飼い主である里子に対して何かしてあげたい頑張るところはあるものの、思考回路がネコなので、爆笑ラブルを起こすことが常なのだ。「サーカス」を「サカス」など、伸ばす音は省略する癖がある。

同漫画は1991年にOVA化された。また、16ある原作（逃走者のみ）のうちこの作品の初出が一番早く、1985年冬（昔すぎる！）。

キューちゃん（）（及川えみり作・「なぞなぞキューちゃん」）  
同漫画の主人公。本名は坂本キュー（本当です）。二本足で立つ

オス猫であり、同漫画ではクイズ王として活躍(?)していた。しかし、連載後半は主人公であるにもかかわらず、どうも影が薄かったようだ。

月見( )(つきみ) (寿らいむ作・「おとぎアドベンチャー」)  
厳密に言くと、同漫画はりぼんオリジナルに掲載された読み切り。  
同漫画の主人公であり、地藏さまに人間にしてもらったメスのうさぎ(但し完璧に人間になった訳ではなくうさぎの耳とシッポがそのまま残っている)。仕掛けられた罠にかかりかけた所を助けてもらった人間の男の子・小太郎に恩返しをしようと張り切る。

## キャラクター紹介（後書き）

全部ご存じな方、メチャクチャすごいです…！

それにしても、このトシで、しかもこの性別でよくそんな小説を…！！（ちゅどーん）

まあ僕は嘘はつけない人間なので、正直に好きなものを集めました。

次回！いよいよ本編に入ります！

## 逃走劇のはじまり（前書き）

それにしても、前チャプターの修正箇所がいくらかあり、直しました…（すいません）

果たしていつまで執筆できるかどうか、僕には分かりません（え！？）。何しろ就活が絡む年齢だったりするので（汗）。

スローペースになる確率が高いですが、見守って頂けるとありがたいです。

さあ、お待ちせしました！ここからが本編です！



## 逃走劇のはじまり

どこか大空のかなたにあるという、天使の世界、エンジェルシティ。  
イ。

その某所にある空き家に、

パシュッ！！

転送された20人の逃走者たち。

全員「うわっ！」

楓「…ここがエンジェルシティ？」

月見「でも、何でよりによって家の中なの？」

チェリー「そうよね、外に出ましょ…」

ちょうどドアの近くにいた乳母<sup>ナニ</sup>のチェリーは、そう言ってドアを開けようとした。が…

ガコン！ガコン！

チェリー「あれ！？」

なんと、鍵がかかっていて開かない！しかも、

お鈴ちゃん「鍵はないんですか？」

チエリー「ない！ツマミも鍵穴もなんにもない！ドアノブしかない  
！！」

鍵を開ける方法が、分からない！

みい子「え…ちょっと待ってよ！あたしたち逃走中をしに来たんで  
しょ！？」

この事態に、ある逃走者は…！

空「おっしゃー！こんなドア、あたしがぶっ壊してやるっじゃん！  
！」

身体能力は男勝りのオンナノコ、二ノ宮空が名乗りを上げた！

空「みんな、ちょっとどいて！うおりゃ~~~~~~~~！！！」

空、ドアに向かって猪突猛進！！

と、その時だった！

ピリリリリリ　ピリリリリリ

ズデーーン！！（空、転倒）

桜井ちよこ（以下チヨコ）「あ、メールだ」

空「って何でこんな時にメールなんだよっ!!」

チヨコに対し、メールが来た。

メル「もしかして、このメールに書いてあるんじゃない？外に出る方法だったり…」

まり「そうよっ！読んで!!」

チヨコ「分かった！じゃあ読むね…」…この部屋のボタンを押せば、この部屋のロックは解除され、外に出ることが出来る。ただし、その1分後に4体のハンターがエリアに解き放たれ、ゲームがスタートする…」

ちま「ボタン？」

ルナ「ボタンなんて…あるの？」

逃走者は皆、ボタンを探し始めた。暫く（しばらく）して…

二ナ「もしかして、これじゃない!？」

二ナ、1つのプッシュボタンを発見。

オージ「ヨシ！じゃあお前が押せ!」

二ナ「ええ!？なんであたしが!!？」

千歳「自分で見つけたら自分で押さなきゃね」

ちなみに、ボタンはドアから離れたところにあり、ボタンを押す  
逃走者にはそれなりのリスクがある。

二ナ「待つて待つて！！何であたし！？」

ゆみ「二ナちゃん体育好きじゃなかったっけ？」

二ナ「いや確かに好きだけど…」

しかも…

オージ「ちよつとどけ！オレが一番乗りだ！」

千歳「いや、わたしよ！ヌイグルミの曲に（くせに）出しゃばるん  
じゃないわよ！！」

ちま（いや…オージは宇宙人なんだけど…）

みい子「あたしも運動オンチなのに…！！」

ドア付近を巡って、争いが始まった…

シロ「ウニヤア~~~~つぶれちゃうよお~~~~」

ミモリ「そんなに変わるものなの？」

空「変わらないと思うけどなー」

二ノ宮空は運動神経が良かったため、ポジションには拘<sup>こだわ</sup>らない様だ…

わぴこ「ちーちゃん（千歳）ギャグ顔だ〜」

千歳「ギャグ顔じゃないわよっ！！」

…いや、さつきからギャグ顔だ（文章だと伝わらないのが残念）。千歳はわぴこ達が何か非常識な事をやらかすとギャグ顔でブチ切れるが、本人はそのギャグ顔が嫌いである。

ちま「あ〜これじゃいつまで経っても始まらない〜」

メル「そうね…」

結局、この争いは15分続き……

お鈴ちゃん「じゃあ、前に行きたい方だけでくじを作って外に出る順番を決めるのはどうですか？」

チヨコ「それが一番じゃない？このままだと1日経っても絶対に決まらないし……」

結局、シンプルだがこの方法が採用された。「どうしても」前に行きたい人6名のみがくじを引き、その結果はこうなった。

- 1 ・志村まり
- 2 ・藤ノ宮千歳
- 3 ・オージ
- 4 ・山田みい子

5・チャチャ

6・キューちゃん

千歳「やった！生意気なヌイグルミに1歩リードね。ホホホホホ」

オージ「誰が生意気なヌイグルミだ！オレは宇宙人だっ！！」

ちま「メルも引いたらよかったのに……」

メル「いや……なかなか決まらない時は手を引くべきでしょ？」

くじを引いた6人「……………」

ちま「あのね……小学生のみい子ちゃんやまりちゃんは仕方ないと思うけど、どうして千歳さんとオージがそんなに出しゃばるわけ！？メルはこんな事言ってるのに」

千歳・オージ「……………」

ウサギに対して、返す言葉がない……。

7番目以降の逃走者の順番は話し合いで合意となり、ボタンを押すのは二ナが受け持つことになった。

二ナ「みんな、準備はいい！？」

全員「オッケー！」

キューちゃん「あ、ひとつ忠告！何があっても前の人を押して出る

のはナシだよ！」

月見「それくじ引いた人が言えるタチなの！？」

キューちゃん「……………ボクの方が先輩なのに……………」

約3年差の後輩にダメ出しをくらうネコ……………。

（「なぞキュー」は1995年から約8年間連載・「おとぎアドベンチャー」は1998年掲載）

二ナ「じゃあ押すよっ！えいっ！」

ポチッ！

ピーーーーーー！

電子音と共にロックは解除され、全員が順番に外へ飛び出した！

放出50秒前！

みい子「ゲッ！！これがハンターか…こわい」

放出前のハンターボックスを見てビックリしたみい子（それも大きく口を開けて）。すぐにその場を離れた。このハンターボックスから、放出されるのだ。

放出40秒前！

空「かけっこなら負けないぜっ！」

と豪語するパワフルな女子中学生・二ノ宮空。

放出30秒前！

ミモリ「鬼ごっこ、鬼ごっこ、楽しいな」

ちよつと（いや、かなり）天真爛漫なかえるの国の姫・ミモリは緊張感に欠けるようだ…。

放出20秒前！

ルナ「何か怖くなってきたなあ…」

いつもは妖怪を元の世界へもどす“妖界ナビゲーター”をしている妖力の持ち主・童堂ルナ（りんどうるな）。逃走中では、妖怪ではなくハンターが相手だ！

10

9

8

7



6

5

4

3

2

1

0

ガタン！

プシュ~~~~！！

90分間のゲームが、始まった……！  
解き放たれた、4体のハンター！

お鈴ちゃん「始まりましたね……！もうこの間にも追われているんですよ」

スタッフ「はい、そうです」

ちなみに、逃走者1名に付きスタッフ1名が付き添っている。

まり「うわあ……あたしたちって基本コメディーだからこんなに

ドキドキするってこれが初めてでしょ、みい子!？」

みい子「うん!でも……ドキドキし過ぎて喉かわいた……」

まり「いい加減にしなさいよ!もうお茶を500mlも飲んだんでしょ!？」

みい子「え?そうだったっけ?」

ハンターは通常、エリア内を搜索し、視界に入った逃走者だけを追う!

ハンター「……………」

楓「もうこれは…何か悪魔でもいるってくらい緊張するよ!」

優しくて明るいと定評のある南楓にとっても、このゲームのプレッシャーは大きい様だ。

わぴこ「まっ　ろくろ　け出ておいで」

ミモリ「ハンターってかっこいいって聞いたことあるけどねーホントかな?」

この2人には、それほど大きなプレッシャーは無いようだが……。

そして、ハンターが一人の逃走者を発見した。最初の犠牲者は…

千歳「わびこは足速いけど、どこか抜けてるところがあるのよね〜そこが気がか…ギヤア！」

藤ノ宮千歳だ……。

LOCK ON Chitose

千歳、ようやくハンターに追われていることに気付いた。すぐさま走りだす。

千歳「いやああああ！こんなところでやられたかないわよっ！アー—————！」

藤ノ宮千歳、もはや（自分が嫌な）ギヤグ顔状態で走っている。が、それも虚しくハンターとの距離は縮まるばかり。遂には半径1メートルを切り…

千歳「嫌〜〜〜！！」ポフッ

藤ノ宮千歳、確保。

残り19名。

残り時間 87:36

¥28,800

千歳「ちよつとアンタ、何わたしを最初に捕まえてんのよ！何とか言いなさいよ！！」

お客様であるにも拘らず、呆気ないギャグ顔で幕を閉じた……。

ピリリリリリ　ピリリリリリ

シロ「ウニヤっ！ケタイが怒ってるよ」

確保情報はすぐにメールで他の逃走者に知らされる。

ゆみ「シロちゃん落ち着いて。ほら、携帯を開いて、真ん中のボタンを押して。スタッフさんに教わったでしょ？」

チャチャ「『藤ノ宮千歳確保』…早っ！」

わぴこ「え〜ちーちゃんもう捕まったの〜？つまんないの」

オージ「バチが当たったんだよ、オレのこと見下げて！」

ルナ「千歳さん確保…怖くなってきた……」

run for money 逃走中

キューちゃん「うわゝここが天使の国…ほんわかしちゃうな」

ゆみ「逃走中って考えるとドキドキするけど、天使の世界ってロマンチックよね」

シロ「ロ…ロマン…チク？なにそれ」

ゆみ「えつとね…美しくて夢があるって意味かな」

ゲームの舞台は、遙か天空にあるという天使の都・エンジェルシティ。多くの天使達が集う、天使達の憩いの場でもある。エリアの広さは、東京ドーム凡そ（およそ）4個分。このエリア内を、19人の逃走者が逃げ回る！！

月見「あ、もうすぐ3分…3万6千円だ！」

残り時間・賞金を表示する腕時計を見ていたのは、人間に変身したうさぎの月見。

月見「108万貰ったら…宿屋を営業してる小太郎の借金の足しに出来ないかな」

賞金は1秒200円ずつ上昇し、90分間逃げ切れば108万円を獲得できる。

また、このゲームは自首もできる。エリア1か所に設置された自首電話から本部に申告すれば、その時点までの賞金を獲得し、ゲ

ームからリタイアとなる。

エリアには、4体のハンター。彼らは一度逃走者を見つけると、驚異のスピードと持久力で見失うまで追跡する！一度ハンターに見つかり、逃げ切るのは容易ではない！

ハンターに捕まれば賞金は………ゼロ！

残る逃走者19人の運命や如何に！？

次回に続く。

## 逃走劇のはじまり（後書き）

ふいゝ… やつと本編に突入できました……。

念のためにお断りしておきますが、作者は単行本派です。

## 黒き翼を持つ天使…（前書き）

何だかんだ言いつつ更新しています（笑）。

あなたのご存じなキャラクターは、この中にいるのでしょうか？



## 黒き翼を持つ天使：

長い髪をリボンでまとめている中学生女子・山田二菜（二ナ）。

スタッフ「今現在19人残ってますが、この人数には慣れてますか？」

二ナ「大丈夫！うちの作品ではあたし以外にもメインキャラだけで6人（ゼロ、イチイ、サン、フォルテ、ゴウ、ロツカ）もいたから、こう言うのには慣れてるの」

スタッフ「そうですか。『まもって！ロリポップ』は増刊だとスピノオフになって二ナさんが全く登場しない回が何度ありましたから……」

二ナ「そうでしたね……。 （遠い目）」

そう。彼女は「まもロリ」の主人公であつたが、二ナ以外のメインキャラのスピノオフとなる回が本誌・なかよしラブリー（増刊）で数回あり、その場合二ナが登場しない時の方が多い。

が、このネコはもつと酷い扱いを受けていた。

キューちゃん「19人なんて多過ぎるよ……」

スタッフ「どうしてですか？」

キューちゃん「だって、ボクが目立たなくなるもん！聞いてよっ！

『なぞキュー』の主人公なのに1コマ登場するのがやっとな  
エピソードが多かったんだよ!!」

確かに、「なぞキュー」では主人公であるにも拘らず出番が少  
なかった時期があった。

出番が欲しい、坂本キュー……。彼の願いは、叶うのか？

一方、こちらの「ネコ」達は……

シロ「ウニャーイ！天使の世界ってすごくハッピーな所だねー!!  
ゆみちゃんもコワイ顔しないで笑って!!」

ゆみ「確かに笑いたいけど……シロちゃんは能天気すぎなのよ……。  
逃走中っていつハンターが来るか分からないでしょ？」

シロ「ハンター？何それ、おいしいの？」

ゆみ「ってシロちゃんハンターが何かも知らずにここに来てるの！  
？」

異常過ぎる、（ネコの）少女だ……。

ゆみ「ハンターは、言わば鬼ごっここの鬼よ。あたしたちは1秒逃げ  
れば200円貰えるの！でもその鬼に捕まったらそのお金は没収さ  
れるの」

シロ「おかね！？1秒200円!!！？やった!!」

ゆみ「そうでしょ！凄いでしょ！逃走中は」

シロ「1000万持つて帰るニヤ~~~~~!!」

ゆみ「……………それはムリ」

やっぱりネコなのか、計算が出来ないシロ……。 (初期満額108万円)

楓「あたし、108万円獲得したら結木くんとデートするのにパット使いたいな」

賞金の使い道を既に決めている、南楓。

楓「…………でも日高さんに知られたら強奪されそう……」

確かに、凶暴少女・日高安純に強奪される危険性も無くはない。しかし、満額108万円を手に入れるには、最後まで逃げ切ることが必須である。

そこに現れたのは……

お鈴ちゃん「あ、南さん！」

楓「わ〜！『赤ずきんチャチャ』のお鈴ちゃん！すっごく可愛い」

お鈴ちゃん「いやいや、南さんも可愛いですよ」

楓「そんなそんな！可愛くて強い忍者ってあたし憧れるもん！」

お鈴ちゃん「あ、でも南さん…何か告知することがあったんでしたっけ？確か『ミルモでポン！』再放送とか…」

楓「うゝゝゝゝん…それもそうだけど、それは東京の読者さんじゃないと見れないよ…？」

お鈴ちゃん「あ、そうですか…。でも『それもそう』って事は、他にあるって事ですか？あるならわたしちよつと見張りでも担当しようかと…」

楓「あ、ありがとう！じゃあ捕まる前に告知しますね。あたしの生みの親が篠塚ひろむさんなんですけど、その方は今ちゃおで『ちびデビ！』と言う漫画を連載されているんです。それが帯番組『大！天才てれびくん』の月曜枠でアニメ化されて現在放送中なんで、是非見てください！」

お鈴ちゃん「凄いですね！同じ作家さんがアニメ作品を2作も…どんな漫画なんですか？」

楓「いじめられっ子のほのかちゃんが、ある日目を覚ますと『まおちゃん』という謎の赤ちゃんが目の前にいて、ほのかちゃんがその子を育てるって話なの」

しかし、楓はあることに気付いた。

楓「あ！お鈴ちゃんも告知しなきゃ！今度はあたしが見張ってるか

ら」

お鈴ちゃん「ありがとうございます！でも、まだ公式な情報がアツプされていないので、あくまでも噂なんですけど、今年（2011年）Cookie5月号で『赤ずきんチャチャ』の読み切りが掲載されまして、それで近日また読み切り第2弾が掲載されるらしいのです！」

\*2011年10月26日付で作者がCookieの公式サイトを調べたところ、2011年11月26日発売のCookie（2012年1月号）別冊付録に掲載されることが判明しました。

楓「へえ〜にじファンの読者層だとチャチャを知ってるって人は結構少ないと思うけど、これはタイムリーな情報よね？チャチャのドタバタワールドは敵ながら必見だわ！」

お鈴ちゃん「ありがとうございます！」

それを見ていたのは……

ちま「あ~~~~~うらやましいな~~~~……タイムリーな人って」

メル「まあまあ……本家でもよく告知はあることだし……」

しかし、楓とお鈴ちゃんの近くに、

ハンター「……！」

LOCK ON Kaede & Orin

見つけた……。

お鈴ちゃん「あ！南さんハンター来てます！！」

楓「うわっ！！ホントだ！！」

2人はすぐさまその場を後にする！彼女達が逃げる先に……

ちま「楓さん逃げてる！？」

メル「ハンター！？」

このウサギ達も巻き添えだ……。

2人と2匹は散り散りになりながらも、建物を利用してハンターを撒こうとする！

ハンター「……？」

ハンターの視界から、全員が消えた。

ちま「メル大丈夫かな……」

メル「ハア、ハア、……これがあと80分も続くの……！？」

楓「告知するのって……体力使っわね（？）……」

お鈴ちゃん「チャチャさん…今どこなんでしょうかね……」

その頃、主人公は…

店員「いらつしやいませ」

チャチャ「あ！可愛いな」このお人形！ふわふわで……でもリーヤの方がもつとふわふわのもこもこだよ」

屋外のおもちゃ売り場で、人形を手を取っていた……。

残り時間は現在、81分30秒（102,000円）、残り人数は19人である。

ここは、天空のどこか彼方にある、天使の住む国・エンジェルシティ。エンジェルシティは4人の天使・はぴねすえんじえるず（はぴえん）の活躍により、きょうも安泰。

ぼぶり「魔法よ魔法よ、生まれておいで！」

魔法の種を「アルデルの小瓶」に詰めて、魔法の呪文を唱えるのは、はぴえんの1人・西野かおり（通称ぼぶり）。

小瓶のふたを開けると、

ポワン……！

中から1つの魔法が生まれた。

ピンチィ「しゅかしゅか〜」

ぽぷり「ピンチィ！今日もよろしくね」

ピンチィ「しゅかつ！」

ぽぷりがアルデルの小瓶から召喚したのは、風の精霊・ピンチィ。  
ピンチィはぽぷりに返事をする、風を起こし、

ぽぷり「うわぁ…たんぽぽの綿毛だぁ」

たんぽぽの綿毛が、風に舞う。ぽぷりは、背中の羽をはばたかせて、空からそれを眺めていた。そこへ、もう一人の天使がやってきた。

???「ぽぷりちゃん、楽しそうね」

ぽぷり「かのかんさん！」

彼女の名は天野かのか。彼女もはぴえんの1人である。

かのか「ぽぷりちゃんったらだいぶ上達したんだ〜自然の魔法」

ぽぷり「いやいや〜そんなことないですよ〜（照れ）あたし、かのか



んさんの自然の魔法に憧れて、うちのママに駄々をこねてただけで……」

かのん「それでぽぷりちゃんのママがアルデルの小瓶をゆずってくれたのね」

ぽぷり「うん。西野家に代々伝わる家宝なの」

かのんは両手を目の前に出すと、

ポワン……！

小さな白い花を魔法で召喚した。

かのん「はい、ぽぷりちゃん。これ、プレゼント！」

ぽぷり「あ、ありがとう！ところで、天音さんとひよこさんは？」

かのん「あゝあの2人は仕事中ね」

そうである。ちょうどその頃、羽野ひよこはエンジェルシティの街中にいた。

ひよこ「ふう〜きょうは不幸のオーラが多いなあ〜でも困ってる人を放ってなんかいられないや！ひよこ、行きまーす」

羽野ひよこもはぴえんの1人。ひよこは不幸の人間が連れている「不幸のオーラ」を回収してその人を幸せにする天使なのである。ただ、おっちょこちょいな一面もあったりする。

一方、椎名天音も仕事中。

天音「ステラス！キルクルス！」

幽霊「うっ！！キサマ、もしや……」

天音「そうよ！あたしはエクソシストの椎名天音よ！さまよえる魂たちよ、お眠り！」

幽霊「うがあああああ……」

椎名天音は幽霊退治を専門職に持っている天使。はぴえんのリーダーでもある。

天音「さっパトロールの続きをしようかな」

かのん「あたしたちも仕事に戻りましょ」

ぽぷり「うん！」

ぽぷりとかのんも仕事を再開させることに。しかし、この後、エンジェルシティを巻き込んだ大騒動が起こることを、誰も知る由もなかった……

場所は変わって、エンジェルシティの外れにある森の中で、二人の黒い翼をもつ天使が何かを企んでいた……

芽亜「ねえ鳴海、あたし達でこのエンジェルシティを不幸のどん底に落とすわよ」

鳴海「芽亜、一体どうする気？」

黒崎芽亜は、星型の黒いペンダントをかざした。そこに映っていたのは、逃走者たちだ！

芽亜「この住人達に、呪いをかけるのよ」

芽亜はそう言うと、そのペンダントを両手の上に置いた。そして、黒い光が放たれた…

彼女がかけた呪いにより、逃走者が混乱に陥る！！

**黒き翼を持つ天使：（後書き）**

ドラマパートの5人＋（ぽぷり・ピンチィ・かのん・ひよこ・天音・芽亜）は原作引用であるため、次回は各キャラクターの説明に入ります。

よって本編は第6話に続きます。

## キャラクター紹介（ドラマパート編）（前書き）

文字通りドラマパートに登場するキャラクターを紹介します。

## キャラクター紹介（ドラマパート編）

西野かおり（ ）（にしのかおり）（アニメ・「ふしぎ魔法ファンファンファーマシー」）

（原作説明）通称ぱぷり。小学4年生。引っ越し先（にこにこ銀座）の家からちょうど100歩目にあるふしぎな薬局「ファンファン・ファーマシー」で出会ったのは本物の魔女・ふきこさん。彼女から譲り受けた「アルデルの小瓶」が不思議な自然を操る精霊を呼び出す……！

ここではアルデルの小瓶は母親から譲り受けたという設定。原作にはない天使という設定が加わり、背中に白い翼を生やしている。

ピンチィ（…？）（アニメ・「ふしぎ魔法ファンファンファーマシー」）

風の精霊。「しゅかしゅか」と鳴く。アルデルの小瓶から召喚される精霊のうちの1種。同アニメからの精霊はピンチィ以外にも登場するのでその都度紹介する。

天野かのん（ ）（あまのかのん）（にしむらともこ作・「天使のはぴねす」）

（原作説明）ある日、彼女の意中の男子・相馬（そうま）くんが交通事故に遭いそうになり、かのんは彼を守りたいと強く願った時に「天使の力」に目覚めてしまい……！？

原作に準じて、天使である。

椎名天音（ ）（しいなあまね）（おおばやしみゆき作・「エンジェル・ハント」）

（原作説明）天音の父は神父でエクソシスト。幽霊が見えるのだが、彼からは幽霊に近づかないようにと言われる。しかし、オカルト好

きのクラスメート・松田真由の存在がそれを拒む。さらには真由は幽霊退治をしたいと言い出して天音を巻き込み、それが発端となり天音と真由が「迷いエンジェル」であることが発覚して……！

原作では天使とはやや違うニュアンスになっているが、ここでは天使として扱う。

なお、原作では天音は真由と2人でないと能力が使えないが、ここでは単独でも能力を使用できる。

羽野ひよこ（ ）（はねのひよこ）（水沢めぐみ作・「ぴよぴよ天使（えんじえる）」）

（原作説明）ちよっぴりドジで勉強も苦手だけど、明るい女の子。ある日、彼女は自分の部屋の中で「チキン？世」という、見てくれがニワトリの生物に出会い、彼に天使代理になってほしいと頼まれて……！

原作に準じて、天使である（ここでは常時変身時のコスチューム）。

黒崎芽亜（ ）（くろさきめあ）（にしむらともこ作・「天使のはぴねす」）

（原作説明）かのんの好きな人、相馬くんが所属するテニス部のマネージャー。

前チャプターで芽亜に「黒い翼」があると言ってしまったが為にこれはネタバレかもと焦っております（すいません…もう後には退けません…）。はいそうです。「黒い翼」は「天はぴ」原作の後半から発覚する情報に基づく設定なのでネタバレ注意…。

大沼鳴海（ ）（おおぬまなるみ）（本作オリジナルキャラクター）

ここでは芽亜の仲間と言う設定。

キャラクター紹介（ドラマパート編）（後書き）

千歳「ネタバレやかしたわね」

ぽぼ介「すいません……」

千歳「それにしても寂しいわよ、1人で牢獄って」

ぽぼ介「そうだね。ボクも寂しい人間だよ」

千歳「イヤ、それは聞いてないわよ」



## ミッション1 その1（前書き）

第4・5話で触れました黒崎芽亜ですが、実は某少年漫画に「読みが同じで漢字が1字違い」のキャラクターがいる事を作者は最近になって知りました。

勿論そのキャラと「天はぴ」の芽亜とは何の関係もありません。…と以上を念のためにお断りしておきます。

本当にお待たせしました…約5日ぶりの投稿です。

第4話でかけた芽亜の呪いとは…！

## ミッション1 その1

ゲーム時間残り80分30秒(114,000円)、逃走者たちに異変が起きた。

ブワアア……

二ナ「うわっ！何この光！」

逃走者全員の左腕が黒く光ったと思えば、その左腕にはさっきまでは付けられていなかった謎のペンダントが付けられていた！  
しかも、そのペンダントの赤いランプが点滅を始めた！

チヨコ「な…何これ！？点滅してる！」

月見「何なのこの気持ち悪いペンダントは〜〜〜」

わぴこ「悪趣味だー」

ピリリリリリ　ピリリリリリ

お鈴ちゃん「メール来ました！もしかして、このペンダントに関するミッションでしょうか…？」

ルナ「ミ…ミッション？」

楓「『今君たちの腕に付けられたペンダントは“呪いのペンダント”…』…呪い！？」

メル「……残り70分までに食糧倉庫の中にあるカードキーをペンダントに挿さないと呪いが発動し強制失格となる……」

ちま「きよ、強制失格!？」

ここまでではごく普通にある様な失格回避のミッションである。しかし、問題なのはそれだけではなかった。

みい子「……そこには20枚のカードキーがあるが、そのうち4枚は……う、うそっ!？」

みい子が驚いた、衝撃の内容とは……!

ゆみ「……そのうち4枚は、即呪いを発動してしまう“呪いカード”だ。急ぎたまえ」の、呪いカード!?!？」

ミッション1「呪いのペンダントを無効化せよ!」

黒崎芽亜の仕業により、呪いのペンダントを着けられた逃走者たち。残り70分になると呪いが発動し、強制失格となる。阻止するには、食糧倉庫にあるカードキーを使って呪いを解かなければならない。呪いを解けば、ペンダントについているランプの点滅も止まる。カードキーの使用は1枚につき1回。

ただし、20枚あるうちの4枚が、挿すとすぐに呪いを発動してしまう「呪いカード」、つまり挿すと即失格となるハズレのカードなのだ!

ミモリ「え?ハズレ?」

スタッフ「4枚がハズレです」

ミモリ「それを挿さなきゃ、いいんだよね」

スタッフ「見た目はどれも同じなので、分かりませんよ。それに早い者勝ちなんで…」

ミモリ「ええっ！？早い者勝ち！！？」

そう。当たりのカードはどんどん無くなっていく為、じっとして  
いる暇はない！

みい子「ちよつと待ってよ！今19人でしょ？アタリのカードキー  
は16枚しかないってことは……絶対に3人はここ（ミッション1）  
で落ちるじゃん！！」

その通り。少なくとも3人はミッション1をクリア出来ない！！

月見「此処から倉庫まで…わりと近いかな」

楓「あゝ良かった…結構近いよ！」

食糧倉庫に比較的近い逃走者にはラッキーなミッションだが…

二ナ「えつと、今此処にいるから…うつそ！倉庫まで遠いつて！」

オージ「ウソだろ…真逆じゃん！」

まり「そんな…結構遠いよ!？」

空「マジかよ…こっから遠いからハズレしか残らないかも……いやいや!行かなきゃダメだろ!」

倉庫から遠い二ナ、オージ、まり、空は特に、じっとしている暇がない!

早い者勝ちなので、遠くに離れている逃走者は呪いカードを挿す可能性が高まる!

しかし動けば、ハンターに捕まるリスクも高まる!!

チャチャとチェリー、合流。

チャチャ「一体なんなのよ!強制失格だなんて」

チェリー「そうよ!しかも呪いカードなんてあたしナットクいかないつ!」

ミッシヨンに不満気な、魔法使いと不思議な乳母（ナニー）。

チャチャ「これって『逃走中』でしょ?『解除中』みたいな運試しをするだなんて、ひつとことも聞いてないわよ!」

チェリー「いやいや…逃走中も運が要求されるってよく聞くでしょ?」

その通り。

チャチャ「あ……でも、カードが多いうちに呪いカードを当てたら、ある意味すごくない？」

チエリー「あはははは……」

やや半壊気味のチャチャの発言に、苦笑いするチエリー……。

1番に倉庫に辿り着いたのは、南楓！

楓「ここよね！カードキー、カードキーは何処に………」

楓に続き、チヨコも倉庫に到着！

楓「あ、チヨコ！」

チヨコ「楓さん！カードキーは挿したの？」

楓「いや、まだ挿してないよ！」

カードキーを探す、2人！

楓「えつと……あ！こんなところに隠れてる……！」

カードキーは机の下という、とても目立たない所にある1つの段ボールの中にまとめて隠されていた。

楓「じゃあ、あたしから挿すね！」

その中から、1つを抜き取った。

楓「お願い……」

呪いカードである確率は、20%。楓、緊張しながらにカードキ―を差し込み口に挿す！

クリアか……？強制失格か……？

カシャッ！！

楓「と……止まった……」

南楓のペンダントのランプ点滅、停止。

南楓 ミッションクリア（未解除18人・カードキー19枚中8ズレ4枚）

楓「呪い解けたよーあたしのペンダント。チョコも頑張つて！」

チョコ「はい！」

楓は、倉庫をあとにした。

チョコも、19枚のカードから、1枚を選んだ。ハズレの確率は、約21%！

チョコ「お願い！」

クリアか……？強制失格か……？

カシャッ！

チョコ「あれ？大丈夫ってこと？」

チョコのペンダントのランプ点滅も、停止。

桜井ちよこ ミッションクリア（未解除17人・カードキー18枚中ハズレ4枚）

チョコ「あ~~~~~これ心臓に悪いよ……」

と言いながらも一安心したチョコは、倉庫をあとにした。

現在、残る逃走者は

指令1クリア者が 楓・チョコ の2名



未クリア者が ちま・メル・オージ・みい子・まり・空・わぴこ・  
ゆみ・チェリー・二ナ・ルナ・チャチャ・お鈴ちゃん・シロ・坂本  
キュー・ミモリ・月見 の17名

確保者が 千歳 の1名

呪いカードを引く憐れな逃走者は一体誰なのか!?

## ミッション1 その1（後書き）

些細なことです、初投稿から約9日して漸く僕の小説の目次にも小説リンク（「こんな小説も読んでいます！」というものです）が出来ました！

お気に入り登録された方、ありがとうございます！

## ミッション1 その2（前書き）

レポートに、会社説明会に、睡魔に……………。

なかなか更新出来なくてすいません……。

## ミッション1 その2

空「やべーな…どんどん無くなるぞ…急がねーと…」

カードキーのある食糧倉庫に向かう、二ノ宮空。

空が向かう先に……

ルナ「あ、二ノ宮さん！」

空「おう！あんたは確か…ナビルナのルナちゃんだよな？」

ルナ「はい！」

空「しかし何だよ一体！呪いカードなんて！」

ルナ「ちよつと怖いですよね…呪いって響きが…」

そう。少なくとも3人は脱落することになる。

空「いやいや、妖界ナビゲーターが怖いって言うちゃダメだろ！？」

ルナ「そ、そうですね…あ、二ノ宮さん、今更ですけどめっちゃモテ委員長のごスト出演おめでとございますー！」

空「ありがと！…って今それどころじゃねーじゃん！？嬉しいけどさ…」

空は「極上！！めっちゃモテ委員長」（原作側）にゲスト出演しま

した。「めっちゃモテ」単行本14巻に収録されています。

一方、この宇宙人は…

オージ「何でこんな面倒くせえミッションなんかしなきゃいけないだよ……」

愚痴をこぼしながらも、食糧倉庫へ向かう。

彼の行く先にも誰かがいた。それは…

オージ「ちよっ…一寸待てよ！遠くにいるぞ！」

ハンター……

咄嗟に（とっさに）オージは曲がり角に身を隠す。

其処へ…

キューちゃん「あれ、オージ？こんなとこで何してんの？」

クイズ王・キューちゃんが角の隅っこに隠れているオージを見つけた。

それに対し、オージは……

オージ「お前うるさいんだよー！」

キューちゃん「え？え！？」

ゴスツー！（オージがキューちゃんにぶつかる！）

キューちゃん「ちょっ……何だよ一体！」

オージは無言で、走り去った。

距離があつたのが幸いして、ハンターは彼らに気付かなかった様だ。

一方、ルナと空は…

空「いやコレは早く行かなきゃダメだって！」

ルナ「そうですね…」

然し、その2人の後方に、

ハンター……

空「もつと速く走れないのかよ！？」

ルナ「そんな事言われても……」

ハンター「……！」

LOCK ON Sora & Runa

空「早くしなきゃカードが無くな……うわあ！！来たぞ！！」

ルナ「嘘！？」

2人に迫るハンター！

空「ルナは左行け！」

ルナ「はい！」

空はそのまま直進し、2人は別々の方向に逃げる！

ハンターが視界に捉えているのは、

L O C K   O N   S o r a

空「あたしか……！」

二ノ宮空だ……

一方、左に逃げたルナは、

ルナ「不味い不味い不味い……！！」

ハンターに追われていない事に暫く気付かず、走り続けていた。  
その時、

ズテン！！

ルナ「あいたっ！」

何も無いところであるにも拘らず、転倒した…。

ルナ「あいたたた……え？うわ……」

LOCK ON Runa

あろう事が、ルナの目の前に別のハンターが現れた。

すぐさま立ち上がり、引き返すも、起き上がる時間がロスとなり、あっという間に距離は縮まって……。

ルナ「きゃ……」ポフッ

竜堂ルナ、確保。

残り18名。

ゲーム残り時間78:21      ¥139,800

ルナ「わたし、実は覚醒してない時はとっても運動オンチなんです……でもやっぱり悔しいです……」

一瞬の油断が、命取りとなった……。

その数十秒前、



空「しつこいストーカーだよ、コイツは！」

二ノ宮空、かなりのスピードでハンターに追隨を許さず一定の距離を保ちながら逃げ続けていた。

空は曲がり角を数回曲がり、

ハンター「……？」

ハンターは空を見失った様だ。

ピリリリリリ　ピリリリリリ

空「ハア、ハア、うるさいだろう！折角撒いたのに……って『竜堂ルナ確保』！？」

みい子「『残り18人』……ルナちゃん第三の目使わなかったの！？」

それはルール違反である……。

チャチャ「あーそうか……普段のルナちゃんは運動神経皆無なんだっただけ……」

チェリー「うん……残念ながらそうなの。うちのルナちゃんは特にね……」

続いて、ちまが倉庫に到着！

ちま「あつた、これだ！」

現在、ハズレを挿す確率は約22%。

ちま「お願い……！」

クリアか……？強制失格か……？

えいっ！

カシャッ！

ちま「やったあ！（点滅）止まったー！」

ちまのペンダントの点滅も、停止！

ちま ミッションクリア（未解除15人・カードキー17枚中ハズレ4枚）

ちまが解除に成功したその時、ゆみとシロも倉庫に到着！

ゆみ「ちまちゃん！呪いとけたの？」

ちま「うん！なんか」

ゆみ「じゃあここはシロちゃん、先にやっちゃって」

シロ、カードを取るものの、

シロ「あゝ！これってパパが買い物するときに使ってるやつだー！」

ズデーン！

ゆみ「ちがうだろ……」

ゆみ、転倒……。

ゆみ「わたし知ってるもん、シロちゃんのこと。だからかわりにわたしが挿すわ」

ゆみ、仕方なくシロが取ったカードキーを取り、代わりに挿す。  
ハズレの確率は、約23%！

クリアか……？強制失格か……？

ゆみ「えいつ！」

カシャッ！

シロのペンダントの点滅もストップ！

シロ ミッションクリア（未解除14人・カードキー16枚中ハズレ4枚）

ちま「シロちゃん幸せ者だね…」

ゆみ「じゃあ次はわたしの番！」

ゆみがハズレを挿す確率は25%！

クリアか…？強制失格か…？

ゆみ「えいつ！」

カシャッ

ゆみ「やった、止まった！」

ゆみのペンダントも、解除に成功！

樹藤ゆみ ミッションクリア（未解除13人・カードキー15枚中ハズレ4枚）

シロ「ユミちゃん、これで買い物しよーよ!」

ゆみ「ちま…助けて…」

ちま「大変だね、ゆみちゃん……」

チャチャとチェリーも倉庫に到着!

チャチャ「あ、ちまもシロちゃんも皆やったの!？」

ちま「うん!呪い解けたよ!チャチャも頑張った!」

ちま達はその場を後にした。

チャチャ「よーし……」

チェリー「やるわよ……」

チャチャ「最初はグーじゃんけんぽん!」

勝ったのはチャチャ。

チャチャ「じゃあわたしが先に引くわよ!」

チェリー「どうぞ……」

2人はカードを選び、手に持った。ハズレの確率は約26パーセントである。

チャチャ「じゃあ、せーので行くわよ」

チエリー「うん！」

クリアか…？強制失格か…？

チャチャ・チエリー「せーのっ」

カシャッ！

ピーーーーー

チャチャ「あれ？この音は…」

チエリー「あたしのは点滅が止まってて…」

チャチャ「って事は………！！」

チャチャ、顔が真っ青になった。ペンダントに付いているランプの点滅はさらに早まった。

更に、そのペンダントからは黒い何かが放たれ、チャチャはたちまちそれに包まれて…

チエリー「チャチャ!？」

黒く濁ったシャボン玉の様な球体に、閉じ込められてしまった！  
そしてそれは牢獄の方向へ浮遊し始めた……………。

チャチャ「あ……………言霊ってこう言う事なのね……………」  
「……………」

チエリーのペンダントの呪いは解けた。

然しチャチャは呪いカードを挿してしまい失格。

残り17名。(未解除11人・カードキー13枚中ハズレ3枚)  
ゲーム残り時間 76:04      ¥167,200

チエリー「チャチャ…………あたしを置いてかないでよ……………」

楓「『チャチャ、呪いカードにより失格』怖いな…………最初で良かった……………」

お鈴ちゃん「チャチャさん……………」

まり「うつわ…………早く行かないところなのね……………」

月見「え…………？チャチャさん早過ぎない!？」

そしてチャチャを閉じ込めている黒く濁った球体は…

ルナ「チャチャさん!？」

千歳「え!？こんな風に連れて来られる訳!？」

牢獄に到着……。

スウツ……。 (球体が宙に浮いたまま消滅)

チャチャ「うわっ!？」

ズデーン!!

チャチャ「あいたたた………」

ルナ「うわっ……大丈夫ですか？」

チャチャ「大丈夫じゃないよぉ〜」

千歳「え?若しかして何処かぶつけた？」

チャチャ「今年(2011年)11月下旬にまた読み切りがでるのに、それを告知する前に失格になっちゃった〜〜〜〜!!!!」

千歳「そっちかい!!!心配して損したわよ!!!」

ルナ「しかもちゃっかり告知してますね……」



そして、その様子を芽亜の持つ黒いペンダントが映し出しており…

芽亜「うふふふ…そうよ……その調子でどんどん悲しんでね……  
赤ずきんちゃん（チャチャ）」

不敵な笑みを浮かべる、芽亜の目的とは一体何なのか!?

現在、残る逃走者は

指令1クリア者が 楓・ちま・ゆみ・チェリー・シロ・チョコ  
の6名

未クリア者が メル・オージ・みい子・まり・空・わぴこ・二ナ・  
お鈴ちゃん・坂本キュー・ミモリ・月見 の11名

確保・失格者が 千歳・ルナ・チャチャ の3名

遂に呪いカードによる犠牲者が現れ、逃走劇は過酷さを増した!

## ミッション1 その2（後書き）

うーん……あと1年早くにじファンを知っていたらもっと投稿出来たかも……

今は兎に角忙しいです……。

## ミッション1 その3（前書き）

未クリア者は11人！

そのうち何人がミッションをクリア出来るのか！？

## ミッション1 その3

お鈴ちゃん「ここですね!」

お鈴ちゃんも倉庫に到着!早速中に入り、13枚あるカードの中から1枚を選ぶ。

其処へ…

ぴょーん　ぴょーん

ミモリ「お鈴ちゃん!」

かえるの国のお姫様・ミモリも到着。

彼女の跳躍力だとビルの8階にも軽く達するが、現在リミッターで跳躍力を制限されている(然しそれでも2階までは跳べる程である)。

お鈴ちゃん「ミモリさん、ここは2人いっぺんに挿しましょうか」

ミモリ「うん!」

ミモリ姫は返事をする、カードを1枚選んで手に持った。

カードが呪いカードである確率は約23%。

クリアか…?強制失格か…?

お鈴ちゃん・ミモリ「せーの！」

カシャッ！

ミモリ「あれ…何も起きないね」

いや、厳密にはペンダントの点滅が止まった、と言う事が起きている。

お鈴ちゃん「な…何も起きないってことは大丈夫なんですよ。それにランプの点滅も止まっていますから」

お鈴ちゃん・ミモリ ミッションクリア（未解除9人・カードキ  
ー111枚中ハズレ3枚）

わぴこ「このハンターってやつ、かわいくないな」

漸く発令時点から倉庫までの距離の半分を走ったわぴこだが、ハンターを見つけて動けない。わぴこにしては冷静だ。

わぴこ「絶対クリアするさ！だって…108万円あったら一杯ぼてち買えるもん！」

彼女の好物は、ぼてち…。

一方、わびこの近くにも…

空「こっちはダメか…」

わびこと同じハンターに足止めを食らっている空がいた。

ハンター「……………」

建物の角に隠れる、ぽてち少女とツインテール少女！

わびこ（いっちゃえ〜）

空（早く行けよ！）

ハンター「……………」

2人には気付かなかった様だ。

わびこ「ドッキドキだよ〜…」

空「危なかった……………」

強制失格まで、5分を切った！

既に呪いを解いたうさぎ、ちま。彼女の行く先に…

ちま「あれ？オージじゃん。呪い解いた？」

オージ「まだ解けてねーよ！」

ちま「そんなに怒んなくてもいいでしょ！？」

オージ「オレ、ちまに頼みたいんだけど、代わりに1枚持って来てくんねーか？」

ちま「何だよ！絶対やだ！！わたしとづくに解けたし！」

オージ「親が同じだろ？そう言う意味でも協力しろよ！？」

注）「はぴはぴクローバー」（ちま）と「くまツプリ」（オージ）はどちらも竜山さゆり先生の作品です。

ちま「それは関係無いでしょ！第一呪いカードだったらどうすんのよ！？そう言うのは本当に自分が責任持たなきゃダメなのよ！！」

オージ「オレ1回ハンター見たんだよ！」

ちま「わたしも見たよ！んで追っかけられたよ！……バイバイ！」

そう言って、ちまはその場を後にした。

オージ「ちょっ………待て!!」

ちまはその言葉に反応もなかった。そしてオージの視界からちまが完全に消えたところで、

オージ「ったく……自分で行けって言っのかよ」

当たり前だ……。

ちま「何よオージったら!お坊っちゃんま気取りも『くまップリ』  
だけにしてほしいわよ!」

怒りに震える、四つ葉ウサギ……。

そして、キューちゃんも倉庫に到着。

キューちゃん「ヨシ!やっと着いたよ……!」

彼も1枚のカードを取る。更に彼はカメラ目線(?)で、

キューちゃん「ところで、鍵は鍵でも運のいい鍵ってな〜んだ?」

何と突然なぞなぞを出題!

キューちゃん「答えは15秒後!お願い……!」



クイズ王・キューちゃんもカードをペンダントに通す！ハズレの確率は約27パーセント！

クリアか…？強制失格か…？

キューちゃん「えいつ！」

カシャッ！

ピーーーーー

キューちゃん「ええっ！？若しかして呪いカード！？」

チャチャの時と同じ様に、彼のペンダントから謎の黒い気が放たれ、キューちゃんを包んでしまう……。

キューちゃん「一寸待つてよ！？ボクの出番つてこれだけ……」  
「……！！？」

坂本キュー、呪いカードを挿してしまい失格。

残り16人。（未解除8人・カードキー10枚中ハズレ2枚）

ゲーム残り時間74：13      ¥189,400

因みになぞなぞの答えは「ラッキー」。然し彼はアンラッキーだ

った…。

彼の願いも虚しく、出番はここまで。

強制失格まで、間もなく4分！

その頃、いつの間にか行動を共にしていた月見とメルが倉庫に到着。

メル「月見ちゃん、先にえらんで！」

月見「え？いいの？」

メル「うん」

月見が選択した後、メルもカードを1枚取った。ハズレを挿す確率は20%！

クリアか…？強制失格か…？

月見・メル「せーのっ」

カシャッ！

メル「止まってる……！」

月見「やった！アタリだ！」

月見とメルのペンダントの点滅が、止まった！

月見・メル ミッションクリア（未解除6人・カードキー8枚中  
ハズレ2枚）

そこへやって来たのは、みい子！

彼女に続いて二ナも入る！

月見「あ！山田姉妹だ！」

みい子・二ナ「違う……！」

みい子・二ナ共に激しくツツこんだ。

二人はカードをそれぞれに選び、手に持った。ハズレの確率は2  
5%！

みい子「二ナさん、いくよ！」

二ナ「うん！」

クリアか…？強制失格か…？

みい子・二ナ「せーのっ！」

カシャッ！

みい子・二ナ「止まった！」

みい子と二ナのペンダントの呪いも、消滅！

山田みい子・山田二菜 ミッションクリア（未解除4人・カード  
キー6枚中ハズレ2枚）

メル「でも奇遇ですね〜山田みい子ちゃんに山田二菜さん」

みい子・二ナ「そうだね…」（ステレオ）

現在、呪いを無効化できていないのは、オージ・志村まり・二ノ  
宮空・わびこの4人！

果たして4人は無事にミッションをクリア出来るのか！？

次回、いよいよミッション1完結！

### ミッション1 その3（後書き）

余談ですが、今週月曜に録画予約していた筈の「天てれ」が何故か録画実行出来ていませんでした…。

が、運のいい事に姉がそれに気づき、ちびデビ（天てれ内のアニメ）放送前に姉が手動で録画を実行してくれました。僕って実は幸せだったりするのか〜と思った瞬間です。

千歳「でもアンタ未だにそんな可愛いアニメ見るのね」

ぽぽ介「別に問題無いでしょ」

千歳「アンタも子供ね〜」

ぽぽ介「いい加減にしろよ！」

ルナ「さ…作者さん！？」

ポコッ！

ぽぽ介「と言う訳で、次回もお楽しみに！」

チャチャ「千歳さん、一言多いね…」

ルナ「千歳さん！大丈夫ですか！？」

## ミッション1 その4（前書き）

前回から1週間程経ってしまいましたね…

のろまですみません。

## ミッション1 その4

ミッション1を既にクリアしたのは12人。

残る未達成者4人（オージ・まり・空・わぴこ）の内、何人が無事にミッションをクリア出来るのか！？

オージ「何だかんだ愚痴ったけど、何とか近くまで辿り着いたぜ…」

確かに色々愚痴っていた。彼は前回ちまに無理な依頼を押しつけていたのだ。

言うまでも無く、断られた。

強制失格まで、3分を切った！

一方、志村まりは…

まり「遠すぎるのよね〜小学生なのにこんなに距離があるなんてないわよ〜」

まだ辿り着いてはいなかった…。

まり「あと3分もないし…」

しかし、



まり「うそ!？」

遠くに、ハンター……。

まり「まずいじゃん!隠れなきゃ……」

直ぐさま傍にあつた木箱に隠れる。

ハンター「……………」

なんと小学5年生であることと背が高くないことが役に立ち、上手く隠れている。

まり（あつぶないわ…………この背丈でうれしいって思った事あったっけ……）

このまま、やり過ごせるか…………!？

ピピピピピ

ハンター「…………?」

まり「えっ!?!ちよつと!?!」

まりの携帯が…鳴った…!

すかさずまりは電話を切った。

しかしそれを聞いたハンターは、携帯の鳴った方向へと近づく……！

まり（マズいつて！どんどん近付いてる……！）

志村まり、絶体絶命……！

ハンター「……！」

まり（……あれ？）

の筈が、ハンターはまりの横を通り過ぎた。

つまりは……

LOCK ON Wapiko

わびこ「おわっ！ハンター来たよっ！」

そう。ハンターはまりよりも遠方にいたわびこに反応したのだ。

まり「あゝ一時はどうなるかと思った……」

志村まり、九死に一生を得た……。

まり「…って安心してる場合じゃないじゃん！行かなきゃ！」

彼女も倉庫を目指す！

わぴこ「うぴょ〜〜〜〜〜〜！ハンター速いね〜〜！！」

とは言いながらもわぴことハンターとの差は縮まらない。

わぴこはハンターに屈せず、何度も何度も曲がり角を曲がった結果、

ハンター「……？」

ハンターを振り切った！

その頃……

みい子「あれ？まりちゃんどうしたのかな？合流しようと思ったのに電話に出ない…」

着信元は、親友のみい子だった…。

強制失格まで、2分を切った！

わぴこ「ハンターってスゴいな〜速くてカッコよくて…あれ?」  
でしょ!? 思いつきり看板に『食糧倉庫』ってあるからさ!」

何と、逃げている間に食糧倉庫に辿り着いたのだ。

さらに、

空「わぴこ!」

二ノ宮空とも合流!

2人は直ぐさま倉庫内に入る!

空「6枚中2枚か…難しいもんだよ」

わぴこ「どれにしようかな〜…ん?」

わぴこ、何かを発見したようだ。それは…

わぴこ「何隠れてんのー? クマさーん」

オージ「違う! オレは宇宙人だ!」

そう。オージである。が…

わぴこ「クマさんもペンダント光ってるねー」

空「え? 何で挿してないのさ?」

まだカードを挿していない。これは一体どういう事なのか?

オージ「オレはまだ挿さない！」

わぴこ「どしてー？」

オージ「だってまだ2枚もあるんだろ！？危なっかし過ぎて挿せるかよー！」

どうやら彼は、あと2人が呪いカードを引くことに賭けている様だ…。

空「ハア！？それあたし達にケンカ売ってないか！？」

オージ「売ってねーよ！これはただの作戦だ！」

わぴこ「ニノちゃん、カードカード！」

空「ニノちゃんって…まあそうだな」

空は少々引いたものの、カードを1枚手に取った。わぴこも1枚取った。

わぴこ「いっちゃうよー！」

空「おいオージ、後で後悔しても知らないからな！」

ハズレの確率は、33%！

クリアか…？強制失格か…？

空「わびこ、あたしの合図でいくよー」

わびこ「がつてんだい！」

空「せーのっ！」

カシャッ！

ピーーーーーーーーーーーーーーーー

わびこ「あり？」

空「鳴ってる！？」

オージ「鳴ったぜ……」

無情にも鳴り響く、電子音……。どちらのペンダントなのか！？

空「わびこのペンダント……点滅止まってるじゃん！……じゃあもしかして……」

わびこ「わー二ノちゃんのペンダントから何か出てるよー」

空「オイ！一寸待てよ！？」

チャチャ・キューちゃんの時と同じ様に、彼女のペンダントから謎の黒い気が放たれ、二ノ宮空を包んでしまう……。

空「何だよ！？こんな呆気ない終わり方アリかーーーーー！？」

わびこ、ミツシヨンクリア。

しかし二ノ宮空は呪いカードを挿してしまい失格。

残り15人。（未解除2人・カードキー4枚中ハズレ1枚）

ゲーム残り時間71：19      ¥224,200

ピリリリリリ      ピリリリリリ

楓「空ちゃん失格！？あの運動神経の良さは頼りにしてたのになー……」

月見「いくらハンターを振り払ってもこればかりはね……」

そう。これは運が重要視されるミツシヨンだ。体力面では、カバー出来ない……。

オージ「二ノ宮空、悪く思うなよ！これもオレが逃げ切るため……」

わびこ「お主も悪いの〜」

ハズレの確率は25%。オージは1枚カードを取った！

クリアか…？強制失格か…？

オージ「とうっ！」

カシャッ！

オージ「鳴ってない…ヨッシャ！」

彼のペンダントの点滅も、止まった。

オージ ミッションクリア（未解除1人・カードキー3枚中ハズレ1枚）

オージ「まあ、このオレ様にしちゃあどーってことねーよ！」

わびこ「クマさんほんとにー？」

まだミッションをクリア出来ていないのは、志村まり……………唯1人！

まりの視界には、まだ倉庫はない！



強制失格まで、あと60秒！

まり「ホントにみい子だったら…これのせいで間に合わなかったら一生恨むわよ…！」

果たして、間に合うのか！？

まり「お願い、お願い…！あ！あれでしょ！？」

走る彼女は、約100メートル先に倉庫を発見した！

まり「ハア、ハア、ハア……」

間に合うか！？

強制失格まで、あと30秒！

29

28

27

まり「やった！着いた！」

1  
3

1  
4

1  
5

1  
6

1  
7

1  
8

1  
9

2  
0

2  
1

2  
2

2  
3

2  
4

2  
5

2  
6

漸く倉庫に到着！もう選ぶ時間は残されていない！

3枚中1枚のハズレを避ける事は出来るのか…！？

1  
0

9

8

7

まり「これよ！えいつ…！」

カシヤツ！

まり「……………点滅…してない…やった〜！」

まり、終了6秒前に呪いを無効化！

志村まり ミッションクリア

まり「うわぁ~~~~~」……まだ20分だけでもいろいろな意味で疲れたよ……」

ミッション1が終了し、残る逃走者は15名！果たして、この逃走劇の結末は！？

次回、芽亜と鳴海が……！

## ミッション1 その4（後書き）

本家の逃走中ですが、どうやら収録が行われたそうで次回作があるようです。

でもまだ詳しい事は分かりません。

新たな情報を楽しみに待ちましょう。

## 2人の魔天使・芽亜と鳴海（前書き）

週2回更新がやっとです。

## 2人の魔天使・芽亜と鳴海

ゲーム残り時間は69分20秒（248,000円）、残る逃走者は15人。

メル「そう言えば月見ちゃんって、今は人間だけどホントはうさぎなのよね」

本当は他人にそれが知れるとうさぎに戻ってしまいが、この世界上では大丈夫な様である。

月見「うん。でもね、完全に人間になった訳じゃなくてさー」

メル「え？」

月見はその意味を説明すべく、被っていた帽子を脱いでみせた。  
すると…

ぴょこっ

メル「あゝ可愛い…！うさぎの耳がそのまま残ってるのね」

そう。月見の頭にはうさぎの耳が付いている。（シッポも同様）

メル「まさか…その耳って取れないよね？」

月見「いやいやいやいや！イヨちゃんじゃあるまいし！」

スタッフ「猫田ミミちゃんとは一緒に参加したかったですか？」

チヨコ「いや……それはどうでしょうね……」

猫田ミミとは、チヨコの親友である。

チヨコ「ミミが逃走中に出ちゃつと……多分いろんな意味でやかましくなると思いますよ……ボケ騒ぎはチヨコミミだけにしてほしいし……」

ミミはマイペースで甘えんぼなので、その懸念は分からなくは無  
い……。

チヨコ「あ……告知してもいいですか？」

スタッフ「はい」

チヨコ「あたしとミミは、りぼんの『チヨコミミ』っていう漫画の主人公で、本誌には2004年から連載中なんですけど、ここしばらく休載中だったんです。でも！りぼん2012年1月号で連載に戻ることにしましたので、りぼん読者の皆さんは是非読んで下さい！」

スタッフ「それはどんな漫画ですか？」

チヨコ「とにかくガリーギャグたっぷりの4コマ（ショート）漫画で、ファクションにも力を入れてるんです」



みい子「あゝ何かどこからともなく出てきそうで怖いなー……」

ピリピリピリピ

みい子「うわっ！……？電話だ……まりちゃん？もしもし？」

まり『みい子……あたしみい子のせいで失格になりかけたのよ？』

みい子「え！……？どどどどういうこと！？」

まり『ハンターに着信音聞かれて動けなかったのよ！あと10秒遅かったらあたしオダブツだったのよ！！』

みい子「そ……そうだったんだ……ごめ」

ゆみ「みい子ちゃん！……」

みい子「え！……？ゆみちゃん！……？」

みい子が「ごめん」の「ん」を言おうとしたその時だった。

まり「もしもし？みい子？……みい子！……（電話）切れた……」

と言つのも……

シロ「ミコっ！ハンタきてる！！」

みい子「ハンター！？」

そう。シロとゆみの来た道の後方に、ハンターが1体いたのだ。

しかし、ハンターは気付いていない。

ゆみ「シロちゃん！早過ぎるって…！」

シロ「ユミちゃんおそいの！」

シロ、拳句の果てにゆみからかなり離れていった…。

みい子とゆみも何とかハンターから遠ざかった。

みい子「ゆみちゃん……シロちゃん1人にして大丈夫？」

ゆみ「まあ…スタッフさんがいたら最低限の事は大丈夫だろうし…」

によきっ！

みい子「そうだね…ってゆみちゃん猫耳でてる！」

ゆみ「え？」

ゆみ、それを確かめるため頭を触っていたら、確かに猫の耳が生えていた！ねこ化だ！

ゆみ「あゝーーーー！たい焼きたい焼き……………あつた！」

パクッ

スウッ…

ねこの耳は消えた。たい焼を食べると、「ねこになる魔法」の効果を一時的に抑えられるのだ。

ゆみ「はあ…もう少しで失格になるところだったよ…」

ねこ化はここでは約30秒以上はしてはいけないことになっている。身体能力を制限する為である。

みい子「でもなんでシロちゃんは何も縛りが無いのかな？」

ゆみ「んゝ…元がネコだからじゃない？」

みい子「いいなー……………ネコってすばしっこいし…」

一方、牢獄では、

ルナ「誰が最後まで生き残れるんでしょうかね…ハンター速いですし…」

千歳「わぴこかしらね。わぴこはきん注メンバーの中でも一番速いもの。アレが走り出すと手がつけられないわよ」

チャチャ「お鈴ちゃん強そう!」

キューちゃん「ちまも案外逃げ切るかもね」

ルナ「うさぎは速そうだからね」

キューちゃん「それもあるし…」

ルナ「もう一つ理由が?」

キューちゃん「ちまキック」

ズデーン!!

千歳・ルナ・チャチャは転倒した…。

千歳「ルール違反でしょ!!」

キューちゃん「いや、そうだけど、あの子やりそうじゃん…」

チャチャ「まあね……でも空ちゃん、いつまでそんな牢獄の隅っこでいじけてるの…?」

二ノ宮空は、まだ失格になった事実を受け止められていない…。

空「だって…そんなのないじゃん!あたし逃げに来たんだよ!それなのに『あなたは運が悪かったですね』って言って追い出すって—

体何なんだよ!!」

ルナ「まあまあ二ノ宮さん…」

空『最悪だろ~~~~~!!』

芽亜のペンダントには、そう叫ぶ空の様子が映し出されていた。

更に、彼女のペンダントは空の悲痛な叫びと共鳴するかの様に、黒く光ったのだ…。

芽亜「うふふふ……順調ね」

鳴海「そうね。あの薬を持ち出せば話は楽に進む…」

芽亜「頼んだわよ、鳴海」

果たして、黒き翼を持った芽亜と鳴海は、一体何を目的にエンジェルシティを不幸にしようと言ったのか…!?

天音「うーん……幽霊退治つても案外体力つかうのね…」

エンジェルシティの上空をパトロール中の、椎名天音。

其処へ……

ぽぶり「あ、天音さん！」

天音「ぽぶりちゃん…今ちよつと疲れててね…」

ぽぶり「だ、大丈夫!？」

天音「うん」

ピ。ピ。ピ。ピ。ピ。

天音「電話…こんな時にどーしたんだろ…もしもし」

用件を聞いた瞬間、天音の顔色は変わった。

天音「分かった!今そっちに行くから」

ピッ（電話を切った）

ぽぶり「天音さん、どうしたの？」

天音「大変よ!天界魔法薬研究所に魔天使が侵入したの!」

ぽぶり「魔天使!?!それって…自分の魔力を得るために他人を不幸にする悪い天使のことだよな!?!」

天音「そうよ。魔天使はその建物の中にいたわ。研究所の外は今パトロール天使に巡回してもらってるから、私達は研究所の中を調べるわよ!」

ぽぷり「はいっ！」

警備員に見つからない様に「あの薬」を持ち出した鳴海は、

鳴海「面倒ね…うかつに動けないわ」

パトロール天使を見て、思うように動けない。

この事件が、逃走劇に大きな影響を与える！！

## 2人の魔天使・芽亜と鳴海（後書き）

もう此処までくれば次のミッションはお分かりですね？

ちなみに魔天使の設定は、原作「天使のはぴねす」に忠実です。

決して僕のアイデアなんかではありません……。



## ミッション2 その1（前書き）

ふつ…僕も200（ユニーク／週）を目指したい…

チャチャ「いや、それは作者が週4回位更新出来ないとムリじゃない？」

それもそつだね…。でもやっぱり忙しい…。

## ミッション2 その1

ゲーム残り時間64分30秒(306,000円)、逃走者全員の携帯が鳴った。

ピリリリリリ ピリリリリリ

チエリー「うわっ!?!何々?」

メールだ。

ニナ「来た!ミッション2」

お鈴ちゃん「『エンジェルシティ内に魔天使が潜入したため』」

楓「ま…魔天使!?!」10人のパトロール天使がエリア内を徘徊している『」

オージ「『彼らは君達を見つけると魔天使の仲間とみなし、笛を鳴らす』通報かよ!?!?」

ミモリ「『ハンターは笛の音に反応し、確保へと向かう』」

わぴこ「『通報を免れるには、地図に示された2つの家どちらかに行く必要がある』」

ミッション2「疑いを晴らして通報を回避せよ!」

魔天使・鳴海がエンジェルシティ内に侵入したため、エリア内には10人のパトロール天使が徘徊している。彼等は逃走者を見つけ次第、鳴海の仲間とみなして笛を鳴らす。その結果、ハンターが笛の音を聞き、確保へ向かう。それを回避するためには、ミッション2用の地図に記された2つの家どちらか1つに向かわなければならぬ。

1つはエリアの北東の端の方に、もう1つはエリアの南西の端の方にある。

楓「魔天使って言ったら一応思いあたる節はあるけど…」

二ナ「魔天使と天使って、一体どんな関係があるんだろ…」

お鈴ちゃん「少なくとも魔天使と言う言葉はいい響きはしませんよね…何か事件が起きそうな気がします」

魔天使と言う言葉に対して、何かしら不安感を募らせる逃走者たち。

オージ「また移動しろって言うのかよ…!?!」

チヨコ「ホントに酷いとはっちりよ!あたしたち何にも悪い事してないのに…!」

ちま「とにかく、急がないと…!」

このミッションをクリアできなければ、ゲーム終了まで笛を吹かれ続けなければならない。パトロール天使に見つかる、逃げ切ることは不可能に近い！

しかし、動けばハンターに見つかるリスクも高まる！

チエリー「うわっ…それっぽい天使いるじゃん……！」

チエリー、パトロール天使を見つけて前に進めない。

チエリー「あ………こうなると自首したくもなってくるよ……いやいや！立派な乳母<sup>ナニ</sup>の1人としてそれはダメ！最後まで頑張らなきゃ……！」

意地を見せる、乳母<sup>ナニ</sup>。

しかし、彼女の後ろから……！

天使（あれは……！）

ピーー！

チエリー「えっ、後ろにも！？」

笛の音を聞いた近くのハンターが、確保へ向かう！

チエリーは必死に天使を振り切ろうとするが…

チエリー「いやあああ！来たあああ……！」

LOCK ON Cherry

ハンターに発見されてしまった！

逃げる乳母・チェリー<sup>ナニ</sup>。しかし、ハンターのほうが明らかに速過ぎる。距離差は1メートルを切り…

チェリー「いやっ！！」ポコン

チェリー、笛の音に因り確保。  
残り14人。

ゲーム残り時間	62:42	¥327,600
---------	-------	----------

チェリー「ヒドいわよ！！あの人ホントに天使！？最っっっ低ー！！」

ピリリリリリ　ピリリリリリ

ミモリ「『通報によりチェリー確保』」

ニナ「うわ~~~~…なかよし組あと3人しかいないじゃん…」

そう。ニナ・ゆみ・わびこのみである。

シロ「…で、このミッションってどういう意味？」

元が子供な猫である為、ミッションを理解出来ないシロ…。

スタッフ「この地図で言うと、ここかそこに向かわないとずっと笛を吹かれるということです」

シロ「フエー！ふきたい！」

ミッションの本質を理解出来ていない…。

スタッフ「笛を吹かれるとハンターが来ますよ」

シロ「ウニヤ！！？そりゃ大変だよー！！」

漸く事情を理解したシロ……。

そんな中、南西側の家に辿り着いたのは…

お鈴ちゃん「近くて良かったですけど…この辺りだけでも結構な数でしたよ！」

桃ん賀流忍者・お鈴ちゃん！

お鈴ちゃん「ここですね！では早速お邪魔します…！」

彼女は扉を開けた。

カチャッ

お鈴ちゃん「すみません……ってあなた若しかして羽野さん!？」

羽野ひよこ「へ? いや、そうだけど……どーしてあたしのこと知ってるの?」

お鈴ちゃん「え? だからそれはわたしと同じりぼんキャラだからですよ……」

ひよこ「リボン……? って一寸待って!!」

ひよこはお鈴ちゃんの腕についているペンダントを見て思わず叫んだ。

ひよこ「これどっかで覚えがあると思ったら、魔天使のマークが入ってるよ! ? あなた、若しかして魔天使! ?」

お鈴ちゃん「違います! ! わたしは決して魔天使なんかではありません! !」

ひよこ「違うの? じゃあそうだねー、魔天使だったら黒い羽を持つてる筈だから、羽を出す魔法を使えばいいかな? テン、テン……忍者さん、呪文何だっけ?」

お鈴ちゃん「知りません! !」

ひよこ、呪文をド忘れしてしまう……!

ひよこ「えーと……あー!! 思い出した!! じゃあ天音ちゃんに教

わった例の呪文、行くよー！」

何とか思い出したのか、ひよこはお鈴ちゃんの前に両手をかざし、呪文を唱える！

ひよこ「テンナスプロデュセレ！」

ブワッ……！

お鈴ちゃんの周辺で、少しばかり強めの風が吹くものの、何も起こらなかった。

ひよこ「あれー…？魔天使だったら黒い羽が出る筈なのに、出てこない…ってことは、」

お鈴ちゃん「本当に魔天使じゃありません！若しそうだったら桃ん賀流忍者として破門されても文句はありませんから！」

ひよこ「え？じゃあなんでこのペンダントを？」

お鈴ちゃん「分かりません！」

その時、お鈴ちゃんが重大な事に気が付いた。

お鈴ちゃん「……！若しかして羽野さんはこのペンダントが原因でわたし達を疑ってらっしゃるのですか？」

ひよこ「うん。このシンボルは紛れもなく魔天使のマークだから…」

お鈴ちゃん「じゃあ外せばいいんですね？」



ひよこ「うん、そういうことになるね。これは不幸のかたまりで出てくるアイテムだから…これだね!」

ひよこは懷からエアガンの様なものを取り出し、エアガンの発射口をペンダントに近づけた。すると…

フワ…

これはひよこにしか見えないが、ペンダントに蓄積されていた不幸の魔力がエアガンに吸い寄せられていく。そして……!

パチン!

ペンダントが、外れた!

お鈴ちゃん「は、外れました!」

ひよこ「これでパトロール天使さんにも疑われないから安心していいよ」

お鈴ちゃん「羽野さん、有難う御座います!」

お鈴ちゃん ミッションクリア（未クリア13人）

お鈴ちゃん「あ、羽野さん!」

ひよこ「なに?」

お鈴ちゃん「わたし以外にも、このペンダントをつけてる人がまだ

いますから、宜しくお願いします！」

ひよこ「オッケー！」

そしてお鈴ちゃんはその場を後にした。

ひよこ「でも魔天使かー…大変なことになりそうだね…」

偶然近くにいたお鈴ちゃんは、直ぐにクリア出来たものの、

楓「もう10人は多過ぎるよ」

わぴこ「天使っていいヤツだと思ってたんだけどな」

ちま「通報なんてされたら堪えないって…！」

メル「早く行かなきゃ…！」

ゆみ「冗談抜きに天使が怖いよ！」

シロ「ウニャ…どうしよう…」

オージ「こんなミッション…面倒くせえ…！」

みい子「ほんつつつと厄介だよ…！」

まり「通報はキツイよね…！」

「ナ、そこらじゅう天使がいるよ……！」

チヨコ「まさか天使に通報されるなんてね……」

ミモリ「がんばって……行かなきゃっ！」

月見「早いとこクリアしなきゃね……！」

この13人は逸早くミッションをクリアしないと、パトロール天使に笛を鳴らされ、ハンターに捕まる危険が高まる……！！

果たして、残る13人はミッションをクリア出来るのか！？

## ミッション2 その1（後書き）

ひよこが使っていた羽を出す呪文「テンナスプロデュセレ」は、天音が「エンジェルハント」で使っていた呪文からとりました。

ひよこの登場作品「ぴよぴよ天使」からではありません。

## ミッション2 その2（前書き）

ある科目の小テストが近いので、更新速度が落ちる可能性もあります。

アップするネタを休み中にまとめておかないと…

チエリー「勉強はしないの？」

いや、勿論するけど……

## ミッション2 その2

残る逃走者14人のうち、未だミッションをクリア出来ていないのは13人！

チヨコ「あゝ多すぎるよ…また天使来たし」

チヨコ、遠くに天使を発見した。

チヨコ「危ない危ない…」

気付かれる前に、近くの路地裏へと隠れる。

天使

難を逃れた、桜井ちよこ……。

チヨコ「いや…路地裏も安全って事は無いよね…？」

確かに。路地裏であろうと、常にハンター・パトロール天使には注意しなければならない。

ピピピピピ

チヨコ「うわっ！うるさいって！！」

電話だ。

チヨコ「もしもし?」

電話の主は…

お鈴ちゃん『もしもし桜井さん?』

チヨコ「お鈴ちゃん!?どうしたの一体」

お鈴ちゃん『ミッションはクリアされましたか?』

チヨコ「いや…ただけど」

お鈴ちゃん『ペンダントを隠せば恐らくは笛を鳴らされないと思います』

チヨコ「ど…どうして分かるの?」

お鈴ちゃん『わたしクリアしたんですけど、天使さん達は魔天使のペンダントを見て通報しているんだと思います。その証拠にペンダントを外してもらいましたから』

チヨコ「分かった、やってみる!ありがとう!」

お鈴ちゃん『桜井さん、頑張ってくださいね』

チヨコ「お鈴ちゃんもよ!」

ピッ

チヨコ「お鈴ちゃん、優しいね…」

ミモリ「天使さんから逃げなきゃいけないっていうのが…なにか変なかんじなんだよね…」

とは言っても、疑われているのだから仕方がない。

ミモリ「でも…あ。天使さんだ」

天使を発見した、かえる族のお姫様。

直ぐに引き返す。

しかし、ミモリの方かう先に…

ミモリ「きゃっ！」

月見「ミモリさん、あたしです！」

ミモリ「なんだ、月見ちゃんか……びっくりした……あっちから天使さん来てたから……」

月見「えっ！！じゃあ早く離れないと……」

2人は、見つかる前にその場を離れる。



ミモリ「ココからだったら…どっちの家が先に着くかな？」

月見「そうですね……今はこの辺りなんで南西の方の家が近いと思います」

ピーーー！

ミモリ「うそっ！？天使さんに見つかった！？」

月見「そんなっ！」

即座に笛の音とは反対側へと逃げる！

月見「こんなところで捕まったら小太郎に見せる顔が…！」

しかし……

ミモリ「月見ちゃん…何か笛の音が遠くなってる気がしない？」

月見「あ…確かにそう言われると…」

どう言っ事なのか。

それはつまり…

ピーーー！

シロ「ウニヤ~~~~~!! 静かにしてよ~~~~~!!」

見つかったのはミモリでも月見でも無く、シロだったのだ…。

シロ「来ないでよ~~~~~!!」

必死にパトロール天使を振り払おうとするシロ。本来ネコであるため彼女の足も速いが、天使も負けじと追いかけて回し続ける。

シロ「フエなんてならしたらハンタが……ウニヤアア~~~~~」  
「!!」

現れた、黒い影…。

LOCK ON Shiro

シロ「こないで~~~~~!! やめて~~~~~!!」

絶叫しながら、逃げる（黒猫の）女の子…。

その速さは、ハンターとあまり変わらない!

シロ、振り切れるのか!?

曲がり角を右に曲がるシロ!

シロ「ハンタってシツコイ……ウニャ~~~~カベだよ~~~~」  
「!」

残念なことに、行き止まりに入ってしまった!

もう、逃げ場が無い……。

シロ「ウニャ~~~~~~~~!」ポン

シロ、笛の音に因り確保。  
残り13人。

ゲーム残り時間 59:55 ￥361,000

シロ「もうくやしいよ……天使ってイタズラするヒトじゃん!」

彼女は暫く、その場に寝そべった……。

ピリリリリリ ピリリリリリ

ちま「うわっ!誰か捕まったかな……」

みい子「『通報に因りシロ確保。残り13人』うぞっ!?シロちゃん!?!」

まり「ネコだから結構逃げられると思ってたんだけど……」

ゆみ「うわゝシロちゃんが…」

わびこ「また通報か…ヒドいよね、天使って」

ミモリ「え！？じゃあさっきの笛の音って…」

月見「シロちゃんでしょうね…」

一方、エリア北東にある方の家の近くに、

二ナ「あそこね…！」

山田二菜が来た！

橙色の長い髪を揺らしながら、その家へと走る！

二ナ「お邪魔しまーす」

カチャッ

中にいたのは…

かのん「どちら様ですか？」

天野かのんだ。

かのん「あれ？これは魔天使のペンダント…！あなた、まさか魔天

使!？」

二ナ「いや!全然違うよ!！」

二ナもお鈴ちゃんの時と同様に、事情を説明する。

かのん「じゃあ、羽を持ってないか調べるからそこに立ってね」

二ナ「うん」

かのんは両手を二ナの前に出し、

かのん「テリナスプロデュセ!」

お鈴ちゃんの時と同様に風が起きるが、何の変化も無かった。

かのん「そう…じゃあ貴方は魔天使じゃないんだね」

かのんはそう言うと、両手を二ナの左腕に付けられたペンダントに向けて、気を集中させる。すると…

パチン!

二ナのペンダントも、外れた!

かのん「これでパトロールの方に疑われる事はないから安心してね」

二ナ「ありがとう!」

山田二菜 ミッションクリア（未クリア11人）

かのん（魔天使か…これは大変だわ）

楓「ここね！」

楓も到着！

力チャ

楓「失礼します…あれ？あなた『えんじえるぴよぴよ天使』のひよこちゃん！  
？」

ひよこ「え？ぴよぴよ…？いや、それは分かんないけど、あたしは確かにひよこだよー」

楓「ひよこちゃん、あたし魔天使だって疑われて大変なの！」

ひよこ「うん、まずは羽が無いかチェックするね。テンナスプロデユセレ！」

勿論黒い羽どころか、羽すら出ない。

ひよこ「この人でもないか…じゃあ一寸待っててね」

ひよこは懷からエアガンを取り出し、不幸の魔力をペンダントから吸い出した。

パチン！

楓「は、外れた！ひよこちゃん、ありがとう！」

南楓 ミッションクリア（未クリア10人）

ゆみ「お願い…あたしは魔天使じゃないよ…！」

しかし、ペンダントを外してもらわなければ疑われ続ける。

ゆみ「うわっ！前から天使が…！」

直ぐさま引き返す！しかし…

ゆみ「うわっ！後ろからも天使…！」

一本道で、挟まれた…！

近くの木箱に、身を隠すゆみ。

ゆみ（どうしよう…）

彼女からかのんの家までは、凡そ200メートル。

ゆみ（ここ隠れにくいし、随分近くまで来たから…行く！）

樹藤ゆみ、強行突破を試みる！

ピーーーー！

ゆみ（お願い……来ないで……！）

果たして、ゆみの運命は！？



## ミッション2 その2（後書き）

風見は逃走中の2作目も投稿したいと思っておりますが、

実は自分も挿絵をやるうかと考えております。

（リリカルショーバイさん、ゆうやんさん、竜斗さん等の影響大）

現在準備中ですので、気長にお待ちください。

千歳「でもアンタケチだからOpenOfficeしかないでしょ」

ぽぼ介「何さ！生徒会費を無駄遣いする人がえらっそうに！」

ルナ「まあまあ2人とも…」

## ミッション2 その3（前書き）

今週土曜あたりに「赤ずきんチャチャN」掲載のCookie発売！

それ目当てでCookieをちゅどーん買おうとする僕。

あ、勿論ネット通販ですよ。

恥ずかしくてとても店頭では買えません……。

## ミッション2 その3

2人のパトロール天使に挟まれ、止むを得ず強行突破に踏み切った樹藤ゆみ。

ピーー！

近くにいるハンターが、笛の音を聞いた！

ゆみ「お願い…あと少しで……」

ハンターに見つかるのが先か？

ミッションクリアが先か？

果たして……！

ゆみ「失礼します！」

天使（かのんさんの家に逃げた…袋のネズミだな…）

ゆみを追いかけたパトロール天使は、そう考えて笛を吹くのをやめた。

ハンター「……？」

笛の音を聞いたハンターは、音が聞こえなくなった事に困り足を止めた。

かのん「あなたも魔天使じゃないのね？」

ゆみ「断じて違います！」

かのん「じゃあ一寸待っててね…テンナスプロデュセレ！」

言うまでも無く彼女の背中からは何も出ない。

かのん「この子もね…今そのペンダントを外してあげるから」

ゆみ「ありがとうございます！」

パチン！

ゆみのペンダントも、外れた！

樹藤ゆみ ミッションクリア（未クリア9人）

こうして彼女もその場を後にした。

カチャ

扉を開けた先にゆみが見たのは、先程ゆみを追いかけた天使だった。

天使（あれ…かの人にペンダントを外してもらったのか…？だとするとつまり…）

天使「疑ってすまなかった」

ゆみ「いえいえ。大丈夫ですよ」

天使「しかし、この耳は付け耳か？可愛らしいが…」

ゆみ「へ？耳って…いや～～～また生えてる～～～」

彼女は急いでたい焼きを食べた。すると同時にねこの耳も消えた。

それを見ていた天使は…

天使「ほう！これは魔法か？」

ゆみ「まあ確かに魔法なんですけど……恥ずかしい魔法です」

ピピピピピ

ちま「楓さんから電話だ…もしもし」

楓『ちま、ミッションはクリアした？』

ちま「いや…わたしはまだ…楓さんは？」

楓『したよ。天使はペンダントを見て通報するらしいから、隠したら大丈夫だと思うよ』

ちま「楓さんありがとう！」

と、この様に残る逃走者全員にもこの事が伝えられた。

1人の逃走者を除いて…

オージ「さっきから天使が多過ぎなんだよ…」

この宇宙人である。

ゲーム開始前にも王様気取りをしていたのが原因と思われる。

（補足だが、オージは王子ではないらしい）

オージ「どーして鬼ごっこで自分から動かなきゃいけないんだよ…」

それが逃走中というものなのだから。

オージ「もう既に2人通報されてんだろ？こつ言う場合は…」

ピピピピピ

ちま「あれ？電話…もしもしオージ？」

オージ「ちま、オレと合流しねーか？」

ちま「へ？何で？」

オージ「2人で行動してたらハンターを撒きやすいイメージあるだろ？」

ちま「いや、それは確かにそうかもしれないけど…わたしが向かうよりそこに行った方が早いでしょ？」

オージ「そんな事言わずに来てくれよ、なあ！」

ちま「それにさあ、オージ、実はさっき牢獄を通り過ぎて知った事なんだけど、キューちゃんを突きとばしたでしょ！？」

オージ「おいおいおい…誰もお前を蹴落とそうなんて言っていないぞ？」

ちま「同じことよ！もうオージなんて頼りにしないから！」

ピッ

オージ「もしもし…もしもし…オイ！何だよ！」

後輩の筈なのに、ちまを扱き使おうとするオージ…。

オージ「オレは諦めないぞ！ちま以外に誰が生きてるかな…」

誰かを呼ぶことに固執する、ワガママな宇宙人…。

一方…

まり「やった！ここよね！」

志村まりも到着！

まり「お邪魔しま…ってかのんさん！？」

かのん「え？あたしは確かにかのんだけど…どうしてそれを？」

まり「いや、どうしてって…にむら先生の連載で…」

かのん「ペンダント…あなたも魔天使じゃないのね？」

まり「ぜんっぜん違います！」

かのん「じゃあそこに立ってて…テンナスプロデュセー！」



勿論羽など出ず、それを確認した彼女はまりのペンダントに両手をかざし、

パチン！

まりのペンダントも、外れた！

志村まり ミッションクリア（未クリア8人）

まり「かのんさん、ありがとう！」

メル「怖いわ…ハンターにも追われてるのに天使にも追われてるって…これは二重の恐怖よね…」

草木の茂った公園の近くにいる、メル。

メル「逃走中って…本当に怖い…ハンター来た！」

メルの行く先に、ハンター…。

ハンター「……………」

垂れ耳を揺らしながら、近くの草木へと駆け込む！

メル（お願い…通り過ぎて……）

メルが隠れている草木は、ハンターが通行中の道沿いにある。

つまり……

メル（うわっ……こんな近くにハンターが……！！！）

ハンターがメルに急接近！

このまま、やり過ごせるか！？

メル（お願い……！）

ハンター「……………」

気付かなかった様だ……。

メル「ふう……。」「

メルは安堵のため息をついた。

その時だった。

ピピピピピピ

メル「！！！」

メルの携帯が、鳴った……！！

ハンター「……！」

そして、着信音を聞かれた……！

無論、ハンターは音の聞えた茂みへ向かう……。

徐々に近づくハンターに対して、見つかるのも時間の問題と踏んだメルは、

メル（お願い！）

隠れていた草木から、抜け出した！

ハンター「……！」

LOCK ON Me1

そして、見つかった……。

メル「嫌〜！」

懸命に逃げるメル。しかし、彼女がハンターにかなう筈も無い。しかも至近距離で見つかった為、最早逃走不可能……！

メル「きゃっ！」ポン

メル、確保。  
残り12人。

ゲーム残り時間 57:22

¥391,600

メル「こればかりは……仕方無いよね……」

優しい垂れ耳うさぎの女の子、敢え無く捕まった……。

ピリリリリリ ピリリリリリ

月見「確保情報……」

チヨコ「『メル確保。残り12人』」

ちま「あゝメル……」

二ナ「動物キャラが続けて捕まってる……」

楓「うゝん……メルちゃんは頑張った方だと思うけど……」

オージ「『メル確保』あ、あは、あははは……エライ時に電話しちゃったな……いや、これは事故だ！これは単なる偶然だ！オレは悪くない……よな」

ワガママな「いお よぎ」もどき(?)、無実のメルを巻き込んだ……。

オージ「でも流石にな…これは痛い事したから…最初から1人で行くべきだったな…」

後悔先に立たず…。

ゆみ「さっきから天使に会っけど…全然扱いが違いますね！クリアする前と後では」

二ナ「ミッションクリアすると結構楽になるね…本当に救われた気分よ！」

しかし、4体のハンターに追われている事を忘れてはいけない。

捕まれば、賞金はゼロ。

わぴこ「みんなではちパーチーしたいな…だから最後まで頑張るのさ！」

そう意気込むわぴこの前に現れたのは…

ミモリ「あれ？わぴこちゃん？」

かえる族のお姫様だ。

わぴこ「このミッションってカンタンかも！ペンダントを隠せばいいって聞いたもん」

ミモリ「そうだね！」

約1名以外は、ペンダントを隠せばいいと言つ有力な情報を手に入れた逃走者たち。

しかし、現実はそんなに甘くは無く……！？

クリア者

お鈴ちゃん・山田二葉・南楓・樹藤ゆみ・志村まり

未クリア者

ちま・オージ・みい子・わびこ・チョコ・ミモリ・月見

## ミッション2 その3（後書き）

ここで、オージとい りよぎの2者について比較。

オージ…宇宙人。見た目はクマのぬいぐるみ。ワガママ。

い りよぎ…犬のぬいぐるみ。であるが動き、言葉も話す。横暴で短気

（ではあるがツッコミ役）。

どちらも青系のキャラクターです。

## ミッション2 その4（前書き）

兎に角忙しい……

でも今週だけは後もう1回だけ投稿したいところです。



## ミッション2 その4

ところ変わって、牢獄。

メル「捕まっちゃった…」

垂れ耳うさぎの女の子、入獄。

キューちゃん「逃げるのって大変だね…」

メル「そうよね…ハンターって速いから見つかったらおしまいよ」

空「でもさ、どうせ牢獄に入る位なら追いかけて確保される方があたしとしては良かったのになー…」

チャチャ「そうよー！追いかけられたら、そのBGMがなる筈なのに、あたし達それすらないもん！まだメルは幸せよ！」

チエリー「あたしは…呆気なく捕まっちゃった。天使がそんな事するんだって思うとシヨックになったわ」

ルナ「でもメルはどうして捕まったの？わたしは転んだところにいきなりハンターがやって来て、もうどうしようも無く…」

メル「……………着信音で気付かれちゃった」

彼女は微笑みながらそう返した。が、それに納得しなかったのか、

生徒会長は…

千歳「え！？ちよつとそれ酷いでしょ！わたしだったらすぐに殴りに行くわよ！誰よソレ！」

メル「え…………それは……………」

しかしメルは答えに戸惑った。ここで口外すると彼にクレームをつけるということに抵抗を感じていたからだ。  
が、その時…

空「ちよつと携帯借りるよ！」

メル「へ！？」

空「最後の着信履歴は…………オージー！」

メル・空以外「え……………！！？」

最早、ブーイングの嵐だった……。

千歳「あのクマ〜サンドバッグにしてやりたいぐらいだわ」

キューちゃん「ほんつつと自分勝手な宇宙人だね！」

空「嫌がらせも大概にしるよな！！」

メル「否、それは違うとおも……………」

チャチャ「メルもちよつとは怒ったほうがいいよ……………」

メル「怒るって…」

シロ「ところでソラはなんでケタイでオジが悪者だってわかったの？」

チャチャ「シロちゃん……まあ見た目人間でも実質ネコだからねー…シロちゃんの世話はネコのキューちゃんにお任せね」

キューちゃん「ちよつと！そんな理由だけでボクに押し付けないでよ！」

一方、当の本人は…

オージ「メル……わざとじゃ無かったけど、流石にお前まで巻き込んでしまうと心が痛いぜ……今回ばかりは自分でクリアするか…！」

意外にも、反省の意を見せていた。

しかし…

オージ「げ…天使いるぞ…」

パトロール天使を、見つけてしまう…。

ここから家まではまだ距離があるため、見つければ逃走はかなり

難くなる。

オージ「こんな時に来るんじゃないやねえよ…！」

咄嗟に建物の角に身を隠す。

天使はオージの隠れている角の方向を見た！

しかし、見ただけで別の方向へと飛んでいった。

オージ「行っただか…ハラハラさせんなよ…！」

そして、その天使が向かった先に、

わぴこ「あ、天使だ」

ミモリ「ペンダント隠そっ！」

2人は、腕組みをしながら歩いていた。無論、ペンダントを隠すためである。

わぴこ（見えなきゃバレないもん）

ミモリ（だいじょうぶっ、だいじょうぶっ！）

そのまま天使の横を通り過ぎようとした。

その時……！

天使（……ん？この気配は……あの子たちから感じるが……）

わぴこ「チヨロイチヨロイ」

天使「ちよつと君、その腕を見せてくれないか？」

わぴこ「へ？？？」

天使「ほら、早く」

わぴこ「ええええ！！？」

わぴこ（どつどつどどーしよーーん……！……こんなときは……）

わぴこ「あ！ぽてちゅー！」

天使「コラ！こんな古典的な冗談はやめ……逃げ足はやっ！」

わぴこ「うわ〜ん追いかけてくるよ〜ん！」

ミモリ「ありやりや〜どうしてバレるのかな〜……」

わぴこは運動神経に優れており足は速い。ミモリは跳躍力に優れている為、スキップのテンポが速い。これが功を奏し、天使との差は一定に保っている！

しかし、わぴことミモリは我を忘れ、腕を振りながら走ってしま

っていた！それに因り…

天使「やっぱり！魔天使のペンダントだな！」

気付かれた……。

ピーーーー！

わぴこ「ヤバッ！」

ミモリ「あゝゝ！」

突き当りで、2手に分かれたわぴこ達！

天使が追っているのは…

わぴこ「来てるゝ！！」

わぴこだ…。

笛の音を聞いた近くのハンターが、確保へと向かう！

わぴこ「ぎよぎよゝゝゝゝ！」

彼女の向かう先に、

みい子「あれ…もしかして誰か通報されて…ええっ！？わぴこちゃん！？」

わぴこ「天使来ちゃった！」

みい子「そんな！天使なんて連れてこないでよ～～～！」

山田みい子、巻き添えだ……。

みい子「あたし、不幸だよ～～～！！」

わぴこ「あっ右からハンターだ」

みい子「ええええええええええ！！？」

LOCK ON Wapiko & Miiko

わぴこ「ミークがんばれ！」

みい子「やだっ！置いてかないでよわぴこちゃん！！あ～～～！！」

わぴこに抜かされた、小学5年生…。

つまり、

LOCK ON Miiko

みい子「ぎゃあああああああああ！！」 ポン

山田みい子、確保。

残り11人。

ゲーム残り時間 54:35 ￥425,000

みい子「イヤだ~~~~~！こんなところで終わるなんて未練がましいよ~~~~~！！」

122cmの小学5年生、ここに散る……。

ピリリリリリ ピリリリリリ

ゆみ「『確保情報』」

お鈴ちゃん「『山田みい子確保。残り11人』」

志村まり「うわっ…もう、主人公がなんでこんなところで捕まるのよ！」

楓「うちのご長寿漫画も危ういわね…」

二ナ「でも小うだから頑張った方かも…」

ミモリ「でもどうしてバレちゃったのかな…あ！ここですよ？」



ミモリ、幸いにも逃げた先に家を見つけた。

ミモリ「失礼しまあ！ひよこちゃ〜ん！」

ひよこ「あれ？あなたも魔天使のペンダントをつけて…」

〜省略〜

パチン！

彼女のペンダントも、外れた。

ミモリ ミッションクリア（未クリア5人）

ミモリ「ねえひよこちゃん、さっきこのペンダントをさりげなく隠してたのに、天使さん分かったんだ。これってどうして？」

ひよこ「あ…それ多分ペンダントから負の魔力のオーラが出てるせいだよ。天使さんそれに勘づいたんだね」

ミモリ「負の魔力……」

この言葉に、少し考え込んだミモリ。

ミモリ「……ってなんだろう？」

やはり天真爛漫だ…。

「ミモリ」でもそのオーラが出てるってことは、大変だね…みんな…」

そう。実は魔天使のペンダントは半径約10mに負の魔力のオーラを発するのだ。天使はそれを察することが出来る為、隠しても勘づかれてしまうということになる。

この事実を知らないちま・オージ・わぴこ・桜井ちよこ・月見の5人は無事にミッションをクリア出来るのか!?

次回、いよいよミッション2完結!

## ミッション2 その4（後書き）

千歳「そう言えば2日前にクイズ特番があつたのよね」

シロ「クイズ！？キューちゃんとくいでしょ？」

キューちゃん「イヤ、ボクは飽くまでもなぞなぞのカテゴリーでクイズ王っていうだけなんだけど……」

シロ「キューちゃんテレビでた!？」

チェリー「……………それ以前にネコが人間界のテレビ局に行ったところでつまみだされるわよ……」

どよ〜ん……

チャチャ「あれ？どーしたの、坂本キュー？」

キューちゃん「何だかんだ言っけどさ、ホントは……行きたかった……」

空「イヤ、だからムリだろ……」

## ミッション2 その5（前書き）

ふつ…宣言通り今週4話目です。

それでは、ミッション2・最終章をどうぞお楽しみに。

## ミッション2 その5

ここまで、2回ハンターを撒いているわぴこ（但し犠牲者1名）。

わぴこ「もー…天使に見つかったからちよつと離れちゃった」

そこへ…

月見「あ、わぴこちゃん！」

わぴこ「わっ！つっきーじゃん！」

月見「つっきーって…お やる丸みたいじゃん…」

わぴこ「聞いてよつっきー！さっきペンダントを隠して天使の横を通り過ぎようとしたら、天使に腕を見せろって言われたんだよ！？」

月見「えええ！？じゃあ姿を見られるだけでもアウトってこと！？隠したらいいって聞いたのに……」

わぴこ「天使って…わぴこがばてち食べるのがキライなわけ？」

月見「否、それは……。兎に角、急ごう！いつ天使が来るか分からないし…」

まり「それにしても…みい子が捕まったとなると、あたし責任重大じゃない！ご長寿漫画として…！」

既にミッションをクリアしている、志村まり。

まり「ホントに勘弁してよ…うわっ！」

彼女が目にしたものとは、

まり「何だ…天使さんか…」

彼女は既にミッションをクリアしている為、魔天使の疑いは無い。

まり「人に会う度にビックリしちゃうわよ…」

わぴこ「あともうちよつとだ…」

月見「やっとペンダントが外せる…あっ！ちよつと待って！」

月見はかのんの家の近くにある何かに気付いた。

それは…

ハンター「……………」

ハンターだ…。

月見（早く行ってよ…！）

わぴこ（KYだ〜）

ハンターを見つけ、前に進めない。

月見「早く…！」

わぴこ「あ、どっか行っちゃった」

ハンターは別の場所を搜索しに行った。

月見「やった！今のうちに…！」

ガチャ

わぴこ「やほ〜！」

月見「失礼します！」

かのん「あれ？あなた達もペンダントをつけられたの？」

月見「そうなんです！」

かのん「分かったわ…ちょっとそこに立っててね…テリナスプロデ  
ュセレ！」

当然、羽すら出ない。

かのん「この子たちもね…じゃあ今ペンダントを外してあげるから」

そしてかのんは先ず、わびこのペンダントに両手をかざし…！

パチン！

わびこ「つつしゃ〜〜〜！」

次に月見のペンダントにも両手をかざした。

パチン！

月見「ありがとうございます！」

わびこ・月見 ミッションクリア（未クリア3人）

オージ「もうちょっとで着くんだけどな…ゲツ!？」

ピーー！

オージ「マジかよ!？」

ひよこの家を近くにして、パトロール天使に見つかったオージ！

彼の逃げる先に、



楓「逃げ切ったらミルモにチョコ買ってあげようかな……ってオージ！？」

オージ「ヤバいぞ楓！天使に見つかった！」

楓「イヤだ！そんなの連れて来ないでよ！！」

オージ「オレだって好きでやってんじゃねえよっ！」

ミッションをクリアした楓、巻き添えだ……。

この二人、どうなる！？

一方、かのんの家の近くに、

チョコ「あつた！ここよね！失礼します……」

かのん「あ！あなたもペンダントをつけてるの？」

～省略～

パチン！

かのん「これでパトロールの方は疑わないからね」

チョコ「ありがとうございます！」

桜井ちよこ ミッションクリア（未クリア2人）

ちま「わたしも…早く行かなきゃ！メルの仇を討つためにも…天使さん！？」

パトロール天使を、見つけてしまった！

ちま「隠さなきゃ……」

ちまは隠しても意味が無いことに、気付いていない。

何も知らずに出ていくと、笛を鳴らされてしまうが…！？

ちま「ってわたしウサギだから隠しながらだと走れないよ…」

ちまのペンダントは左腕につけられており、両手と両足で走るウサギには移動しながら隠す事は出来ない。

その為、隠す事を断念した…。

ちま「仕方ないな…別の道から行こうか…」

一方……

楓「もう…オージったら…何で天使さん連れてくるの…？」

彼女は既にペンダントを外してもらっていたので、オージと別々に分かれた際に天使からは離れていた。

つまりハンターが来る前に、事無きを得たのだ。

楓「オージってさっきから良くない噂が出回ってるけど…疫病神だったりもするのかしら…？」

ピーー！

オージ「邪魔するぞ！」

ガチャ！

天使（よし…あとはひよこさんに任せた…）

天使は別の場所を搜索しに行った。

ひよこ「あゝ！このクマさんかわいいー！」 むぎゅー！

オージ、入るなりひよこにハグされる…。

オージ「うぐぐぐぐぐつ…離せ！苦しいっ！それどころじゃねーんだよ！オレ魔天使だって疑われて大変なんだよ！」

ひよこ「クマさん喋るんだ〜!」

オージ「いや、だからコレ（ペンダント）見ろよ!」

ひよこ「…えええ!？クマさんも!！?」

（省略）

パチン!

オージ「ありがとな!」

そこへ……

カチャ

ちま「失礼しま…ってオージ!？何さ!!ワガママな宇宙人が図々しく生き残って!」

オージ「……………」

彼は、ちまの問いに答える事無く、外へ出ていった…

ちま「ちょっと!？オージ!」

ちまはオージを止めようとしたが、

ひよこ「あれ？ウサギさんもペンダントつけてるね」

ちま「あ、うん!何とかして外せないかな…」

ひよこ「あ、その前に…テリナスプロデュセレ！」

勿論、羽は出ない。

ひよこ「このウサギさんもだね…よし！ちょっと待っててね」

ひよこはエアガンをペンダントに近づけ、負の魔力を吸い取った。  
そして…！

パチン！

ちま「やった！」

オージ・ちま ミッションクリア

ちま「ありがとう！おかげで助かったよ！」

ひよこ「うん！」

ひよこ（魔天使って…ホントにする事が荒っぽいな…んでもって、あのクマさん…ちょっと悲しそうな顔してた気がしたんだけど、なんだかな…？）

ピリリリリリ ピリリリリリ

ミモリ「あ、メールだ」

ゆみ「『ミッション2・結果』」

二ナ「『逃走者全員が疑いを晴らした』」

お鈴ちゃん「良かったですね…！」

ミッション2が終わり、残る逃走者は11人。

逃げ切れば、108万円を獲得出来る。しかし、ハンターに捕まれば、賞金はゼロ！

逃げ切る者は、現れるのか！？

## ミッション2 その5（後書き）

やっと出来た…

一話約3000文字のペースで週4回投稿は大学生には難しいのかな…？

それとも自分がのろまなだけ？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4583x/>

---

逃走中・あつまれ！少女漫画キャラクター ～天使の世界への刺客～

2011年11月26日19時07分発行